KENWOOD

Avino

マイクロハイファイ コンポーネント システム

SK-7PRO
SK-5MD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、
ありがとうございました。
機器を正しく、安全にご使用いただくため、
使用を開始する前に必ず、「安全上のご注意」
をお読みになり、十分にご理解ください。
使いかたの説明も、併せてよくお読みくださ
るよう、お願いいたします。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要に
なったときにくり返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で
使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

MDLP

B60-5269-18 02 (CH) (J) OC 0203

本機の特長

ATRAC3によるデジタル長時間録音/再生機能(LP2、LP4)を搭載

標準の2倍(約160分)または4倍(約320分)のデジタル長時間録音/再生ができます。(時間は80分ディスクを使用した場合)

CD→MD　High Speed (4倍速)ダビング対応

CD からMDへ、通常の約1/4の時間でダビングできる便利な機能です。

CD-R/RWの再生に対応

CDレコーダーで作成された、音楽用CD-R/RWの再生が可能です。

サンプリング・レート・コンバーター搭載

BS/CSチューナーと接続し、デジタル録音ができる光デジタル入力端子を装備しました。

スリムなデザインに3枚CDチェンジャー+MDを装備(SK-5MD)

コンパクトサイズのボディーに3枚CDチェンジャー+MDを実現させました。BGMとして長時間CDの音楽を楽しむことはもちろん、シングルCDの録音もカンタンにできます。

パワートランジスターに Linear TRAITを採用(SK-7PRO)

歪みを抑えることで、音像定位が明確になり、立体感が出ると同時に芯のある低域を再現します。

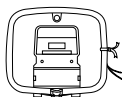
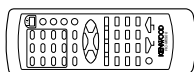
高性能24ビット D.R.I.V.E.Ⅱ を採用(SK-7PRO)

CDの16ビットの情報を24ビットの情報量できめ細やかにデジタル処理をします。不要な量子化歪みが除去され原音に近い信号に変換され,音の余韻、定位感、臨場感を再現します。

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

FM 室内アンテナ(1本)

AM ループアンテナ(1個)

リモートコントロール(リモコン)ユニット(1個)

リモコン用単3電池(2本)

スピーカ梱包に付属

スピーカーコード(2本)

目次

安　全　編

準　備　編

基　礎　編

応　用　編

知　識　編

スタンバイ・モード（状態）について

本機は電源プラグがコンセントに接続されているとき、電源をオフにするとstandby/timerインジケーターが点灯します。メモリー保護のため、微弱な通電を行っているためです。これを"スタンバイ・モード（状態）"といいます。

- standby/timerインジケーターが点灯しているときは、リモコン操作によっても電源のオンができます。
- スタンバイ状態でstop ■ キー（リモコン ■ STOPキー）を押すと、表示部が5秒間時計表示になります。

安全上のご注意

△この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

SK-5MD/SK-7PRO/J

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

△ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
△ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

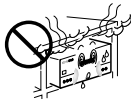
この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。）

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災･感電の原因となります。

放熱に注意

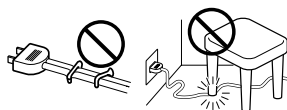
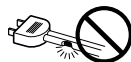
設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災･感電の原因となります。

電源コードの取扱い

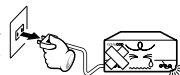
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。
コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災･感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災･感電の原因となります。

異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災･感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

電源プラグは清潔に

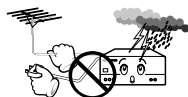
電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

落下した機器は使わない

機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。
こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池は放置しない

電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

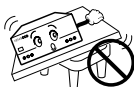
乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

電源コードを熱器具に近付けない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

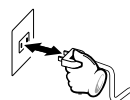
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

長期間使用しないときは

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない

この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

アンテナ工事

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指をはさまない

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

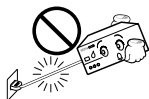
ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

音量に気をつけて

はじめに音量(ボリューム)を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-"の向き)に注意し、表示通りに入れてください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

お手入れの際は

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

システム(本体)と付属品の接続

⚠ 注意 接続のご注意

- 接続をするときは、図のように行なってください。
- アンテナ、スピーカなどの接続が終了してから、最後に電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作しなかったり、表示部が誤った表示をする場合は、"マイコンをリセットするには" を参照してマイコンをリセットしてください。 →74

⚠ 注意 設置のご注意

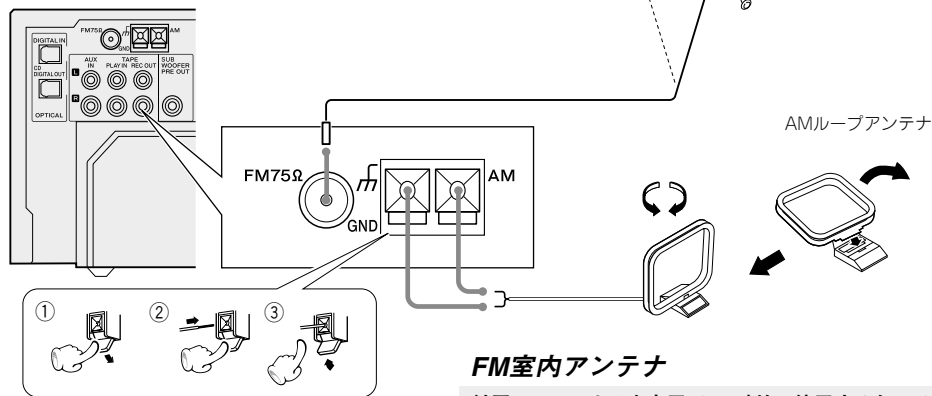
本機底面には放熱用の空気取り入れ口があるため、じゅうたんなど柔らかい平面に本機を置くと空気取り入れ口がふさがれ、充分な放熱効果が得られません。かならず棚の上などかたい平面に置いてください。

スピーカーの設置とテレビについて

1. 本機のスピーカーは、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分〜30分後に再び電源をオンにしてください。テレビの自己消磁機能により、色ムラが改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、テレビからスピーカーを離して設置してください。
2. 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置の際はご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、本機の電源がオフ(スタンバイ)のときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

付属アンテナの接続

AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本体、テレビ、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続するときは、室内アンテナは取り外してください。

❶ アンテナ端子に接続する
❷ 受信状態のよい位置をさがす
❸ 固定する

スピーカー接続 (SK-7PRO)

スピーカー接続 (SK-5MD)

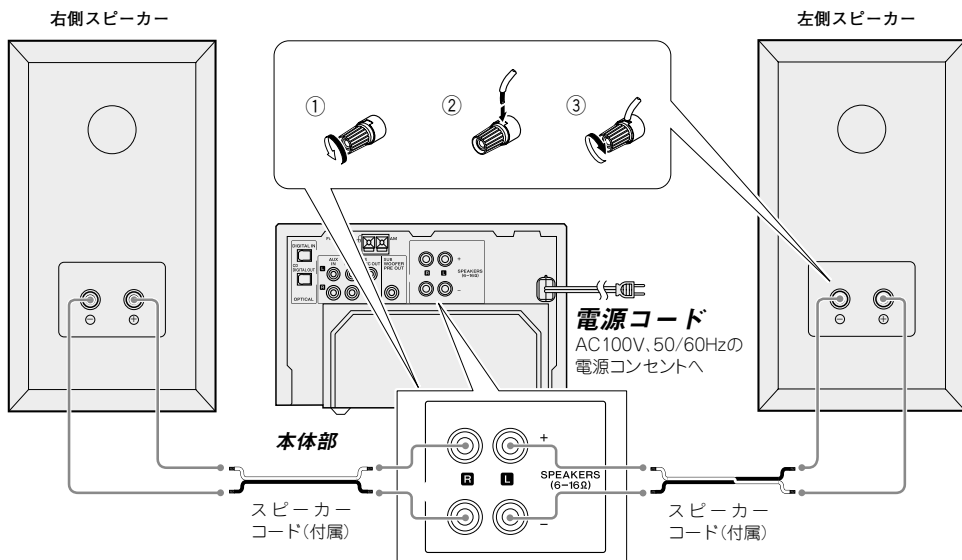
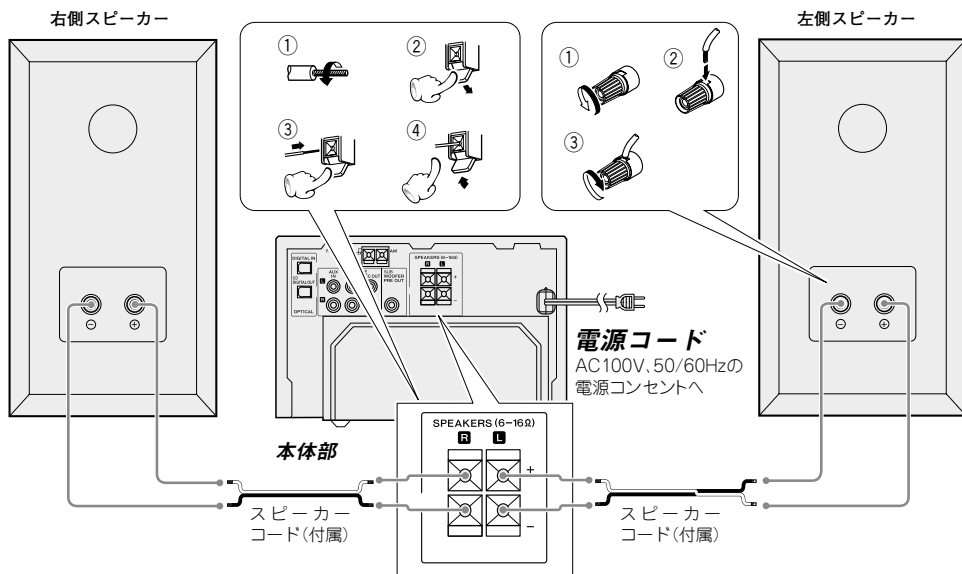
右側スピーカー

左側スピーカー

電源コード

AC100V、50/60Hzの
電源コンセントへ

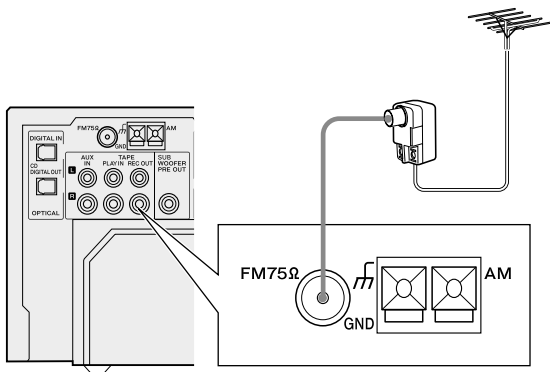
本体部

SPEAKERS (6−16Ω)

スピーカー
コード(付属)

スピーカー
コード(付属)

- スピーカーコードの+と−は絶対にショートさせないでください。
- 極性(+と−)を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。正しく接続してください。

他の機器（別売品・市販品）との接続

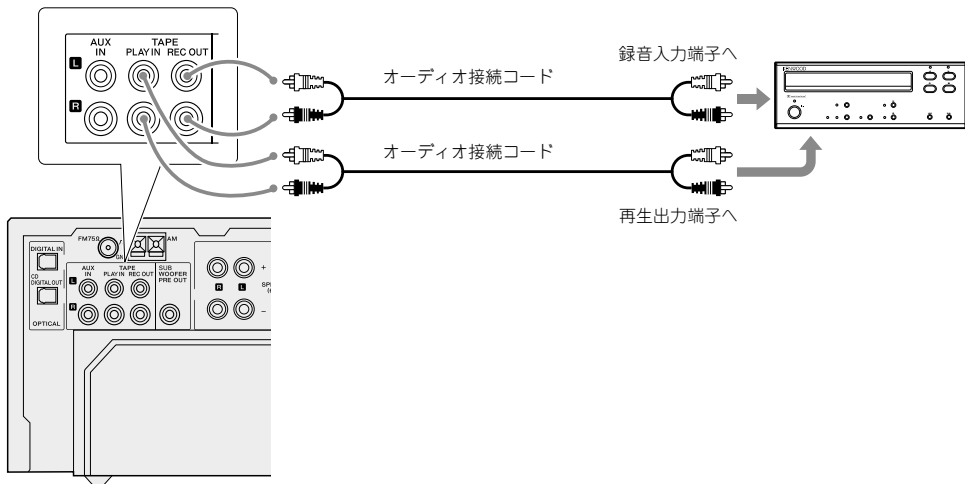
FM屋外アンテナとの接続

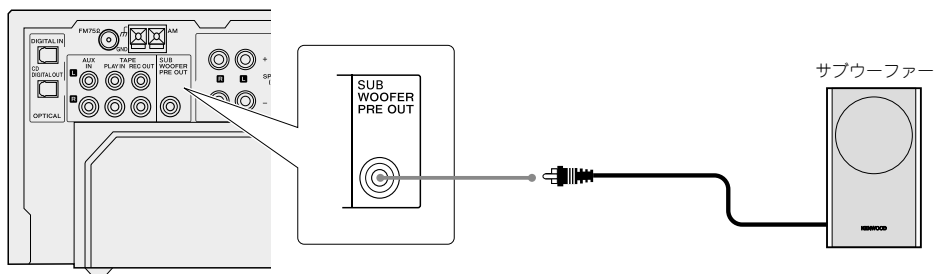
75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続するときは、FM室内アンテナは取り外してください。

⚠ 注意 屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要なので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れて送配電線に触れた場合、感電の原因になることがあります。

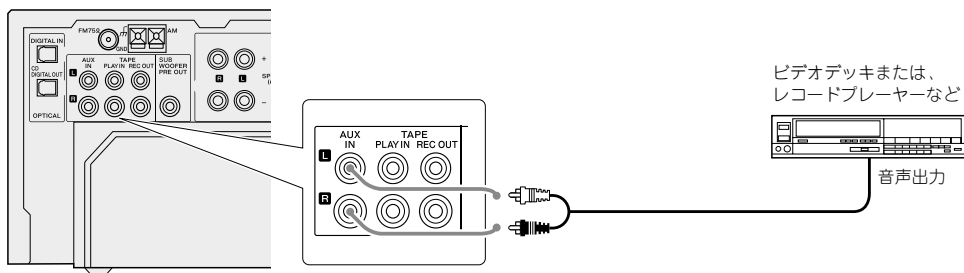
カセットデッキ（別売）との接続

別売またはカセットデッキに付属のオーディオ接続コードを使って、本機背面のTAPE PLAY INおよびREC OUT端子に接続します。カセットデッキに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

準備編

サブウーファー(別売)との接続

重低音を力強く再生します。どのような再生のときでも使用できます。

外部ソース(音源)機器との接続

アナログ接続の場合

本機背面のAUX 入力 端子を使って、ビデオデッキやRIAAイコライザーアンプ内蔵のレコードプレーヤー(P-110)(別売)などを接続することができます。

デジタル接続の場合

本機背面のデジタル入力/デジタル出力OPTICAL(オプティカル)端子を使って、BS/CSチューナーなどのデジタル機器からデジタル入力したり、本機のCDのデジタル出力を外部機器で利用することができます。

※本機のOPTICAL端子はコードを接続していない場合、カバーで覆われており、中の端子は見えません。

本体部（SK-7PRO）

❶ **ミニディスク挿入口**

❷ **standby/timerインジケーター**
スタンバイ状態（電源がオフ）：赤の点灯
タイマースタンバイ状態（電源がオフ）：緑の点灯
通電状態（電源がオン）：消灯

❸ **⏻キー→19**
電源のオン／スタンバイを切り換えます。

❹ **soundキー→20**
音質を切り換えます。

❺ **MD recキー→33**
MDに録音するときに使います。

❻ **リモコン受光部→18**

❼ **CDトレイ→22**

❽ **phones端子→19**
ステレオミニプラグ付きのヘッドホン（別売）を接続します。

❾ **⏏キー**
ミニディスクを取り出すときに使います。

❿ **menuキー→20**
各ソース（音源）の応用操作を行うときに使います。
setキー→20
メニューで選んだ機能を確定するときに使います。

⓫ **volume/multi controlつまみ→19→20**
音量の調節や諸設定モード時の項目選択に使います。

⓬ **表示部**

⓭ **stop ■ キー→22→24**
CDやMDの停止キーです。
スタンバイ状態の時は、5秒間時計表示をします。
|◄◄ p.call ►►| キー→23→28
CDやMDをスキップしたり、メモリーした放送局を呼び出すときに使います。

⓮ **入力選択キー→19**
AUX/TAPE
AUX（外部接続機器）、テープまたは外部のデジタル入力を選択します。
TUNER/BAND
放送を聴くとき、放送バンド（AMまたはFM）を切り換えるときに使います。
MD ►/II
MDを選択して再生するとき、一時停止をするときに使います。
CD ►/II
CDを選択して再生するとき、一時停止をするときに使います。

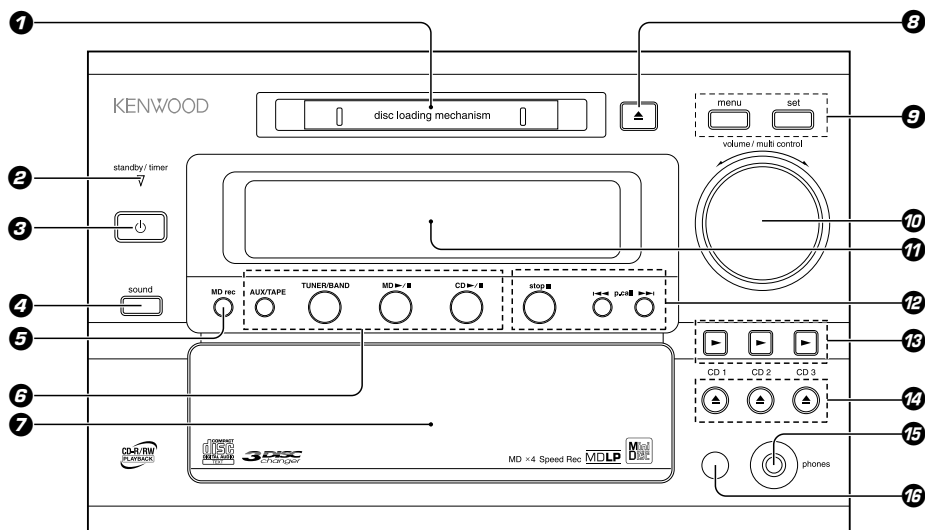
⓯ **source directキー→20**
付加回路をできるだけ省いて音源（ソース）からのダイレクトな音を聴くためのキーです。

⓰ **⏏キー→22**
CDのトレイを開閉して、CDを入れ換えるためのキーです。

⓱ **repeatキー→38**
CDやMDを繰り返し再生するときに使います。

⓲ **randomキー→39**
CDやMDの曲を順不同に再生するときに使います。

⓳ **displayキー→23→25**
表示部の表示内容を切り換えます。

本体部（SK-5MD）

❶ ミニディスク挿入口

❷ standby/timerインジケーター
スタンバイ状態（電源がオフ）：赤の点灯
タイマースタンバイ状態（電源がオフ）：緑の点灯
通電状態（電源がオン）：消灯

❸ ⏻キー→19
電源のオン／スタンバイを切り換えます。

❹ soundキー→20
音質を切り換えます。

❺ MD recキー→33
MDに録音するときに使います。

❻ 入力選択キー→19

AUX/TAPE
AUX（外部接続機器）、テープまたは外部のデジタル入力を選択します。

TUNER/BAND
放送を聞くとき、放送バンド（AMまたはFM）を切り換えるときに使います。

MD ►/II
MDを選択して再生するとき、一時停止をするときに使います。

CD ►/II
CDを選択して再生するとき、一時停止をするときに使います。

❼ CDトレイ→22
ディスクを3枚まで収納することができます。

❽ ▲キー→24
ミニディスクを取り出すときに使います。

❾ menuキー→20
各ソース（音源）の応用操作を行うときに使います。
setキー→20
メニューで選んだ機能を確定するときに使います。

❿ volume/multi controlつまみ→19→20
音量の調節や諸設定モード時の項目選択に使います。

⓫ 表示部

⓬ stop ■ キー→22→24
CDやMDの停止キーです。
スタンバイ状態の時は、5秒間時計表示をします。
|◄◄ p.call ►►| キー→23→28
CDやMDをスキップしたり、メモリーした放送局を呼び出すときに使います。

⓭ ►キー→23
CD1，2，3のいずれかを選んで直接再生するときのキーです。

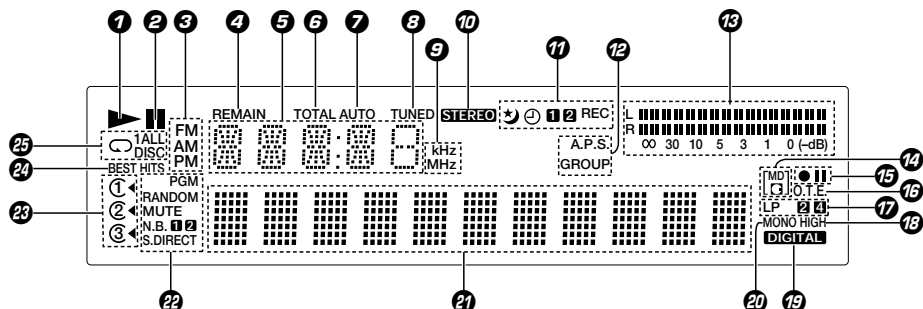
⓮ ▲キー→22
CD1, 2, 3のトレイを開閉して、CDを入れ換えるためのキーです。

⓯ phones端子→19
ステレオミニプラグ付きのヘッドホン（別売）を接続します。

⓰ リモコン受光部→18

準備編

表示部

❶ 再生表示

❷ 再生一時停止表示

❸ AM/FM(受信バンド)表示
AM/PM(午前/午後)表示

❹ REMAIN(残り時間)表示

❺ 周波数、時間、トラック番号、プログラム番号等の数字表示部

❻ TOTAL(総記録時間)表示

❼ AUTO(オートチューニング)表示

❽ TUNED(ラジオ放送同調)表示

❾ kHz / MHz表示

❿ STEREO(ステレオ放送受信)表示

⓫ (スリープタイマー)表示
❶(タイマー1)表示
❷(タイマー2)表示
REC(録音タイマー)表示

⓬ A.P.S.表示
オートパワーセーブ中に表示します。
GROUP表示

⓭ レベル表示

⓮ MD表示
MDがセットされているときは内側の表示がでます。

⓯ ●(MD録音)表示
II(MD録音一時停止)表示

⓰ O.T.E.(ワンタッチエディット)表示

⓱ LP 2表示
ステレオ2倍長録音/再生時に表示されます。
LP 4表示
ステレオ4倍長録音/再生時に表示されます。

⓲ HIGH表示
CDのハイスピードダビング時に表示されます。

⓳ DIGITAL表示
デジタル録音時に表示されます。

⓴ MONO表示
モノラル長時間録音時に表示されます。

㉑ 文字情報表示部
受信放送局名(FMオートプリセット時)や、MDタイトルなどの文字情報を表示します。

㉒ PGM表示
プログラム再生時に表示されます。
RANDOM表示
ランダム再生時に表示されます。
MUTE表示
ミュート(消音)時に表示されます。
N.B.1/N.B.2表示
N.B.(ナチュラルバス)機能を選択したときに表示されます。
S.DIRECT表示
ソースダイレクト機能オンのとき表示されます。

㉓ CD1,2,3表示(SK-5MDのみ)
CDトレイ1,2および3にCDがセットされている時はそれぞれの番号のC 表示がされます。
また、再生中のディスク番号は ◀マークで示します。

㉔ BEST HITS表示

㉕ リピートモード表示
(SK-7PRO)
1 :1曲リピート再生表示
:1ディスクリピート再生表示
(SK-5MDのCD再生時)
1 :1曲リピート再生表示
1 DISC :1ディスクリピート再生表示
ALL DISC :全ディスクリピート再生表示

リモコン部

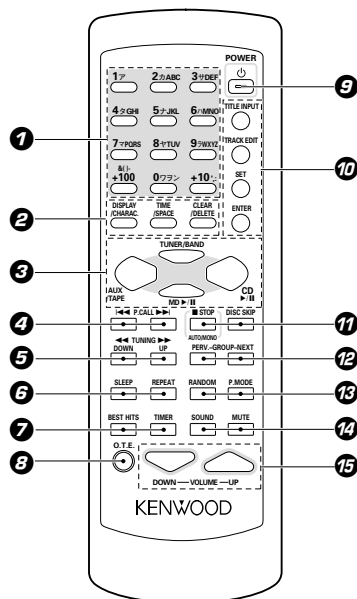
※図はSK-5MD用です。

本体と同じ名前のキーは本体のキーと同じ働きをします。

❶ **文字入力/+10、+100、テンキー**
MD、CDのトラック番号選択に使います。
チューナーのプリセットコールに使います。
MD編集時、アルファベット、カタカナ、数字、記号の入力に使います。

❷ **DISPLAY/CHARAC.キー**
表示の切り換え、および入力文字グループの選択に使います。

TIME/SPACEキー
現在時間の調整、およびMD編集時、スペースの入力に使います。

CLEAR/DELETEキー
プログラムや入力文字の取り消しに使います。

❸ **基本操作キー（入力切り換え/再生/停止など）**

MD▶/IIキー、CD▶/IIキー、■STOPキー、TUNER/BANDキー

❹ **I◀◀ P.CALL ▶▶Iキー**
ソース（音源）がCD、MDのとき
　曲の飛び越し（スキップ）に使います。
ソース（音源）がチューナーのとき
　記憶させた放送局をプリセット番号から選ぶときに使います。

❺ **◀◀ TUNING ▶▶（DOWN, UP）キー**
ソース（音源）がCD、MDのとき
　曲の早送り、早戻しに使います。
ソース（音源）がチューナーのとき
　周波数から放送局を選ぶときに使います。

❻ **SLEEPキー**
SLEEP（おやすみ）タイマーを設定するときに使います。

REPEATキー
CD、MDを繰り返し再生するときに使います。

❼ **BEST HITSキー**
CDのベストヒット再生/録音をするときに使います。

TIMERキー
各種タイマーの実行、解除をするときに使います。

❽ **O.T.E.キー**
CD再生中に押すと、再生中の曲だけを、停止中に押すと、CD全曲をMDに録音します。

❾ **POWER(⏻)キー**
電源のオン、スタンバイを切り換えます。

❿ **CD PGM再生/MD編集キー**

TITLE INPUTキー
ディスク/トラックタイトルを入力するときに使います。

TRACK EDITキー
MDを編集するときに使います。

SETキー
ソース（音源）がCD、MDのとき
　MD編集の設定や確定などに使います。
　タイトル表示などを切り換えるときに使います。-ヲ
ソース（音源）がチューナーのとき
　オートプリセットした放送局名を変えるときに使います。
スタンバイ状態のとき
　時計表示をするときに使います。

ENTERキー
ソース（音源）が、MDのとき
　MD編集や、入力したタイトルの確定などに使います。
ソース（音源）がチューナーのとき
　マニュアルプリセットの確定に使います。

準備編

⓫ ■STOP／AUTO/MONOキー
ソース（音源）が、CD/MDのとき
　再生（録音）を停止します。
ソース（音源）がチューナーのとき
　自動選局モード（ステレオ自動受信）と、手動選局モード（モノラル受信）を切り換えます。

DISC SKIPキー（SK-5MDのみ）
押すごとにCD1,CD2またはCD3に切り換わります。

⓬ PREV. -GROUP- NEXTキー
MDのグループ編集·呼び出しに使います。

⓭ RANDOMキー
CD、MDの曲順を順不同に再生するときに使います。

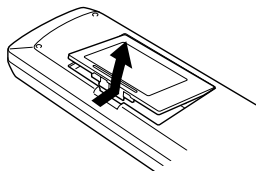
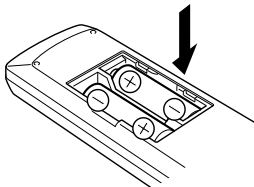
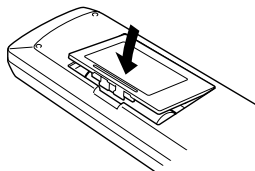
P.MODEキー
プログラム再生に使います。

⓮ SOUNDキー
音質調整に使います。

MUTEキー
一時的に音を消したいときに使います。

⓯ VOLUMEキー
音量の調節をします。

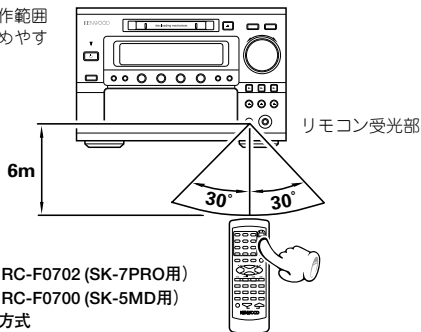
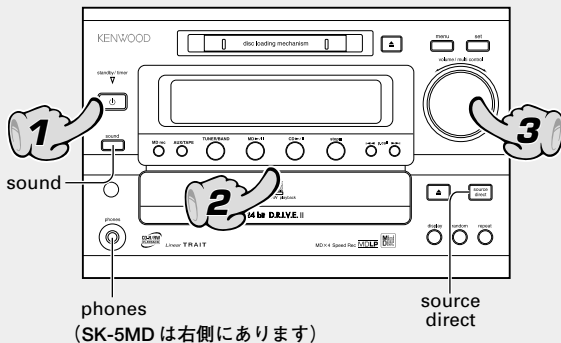
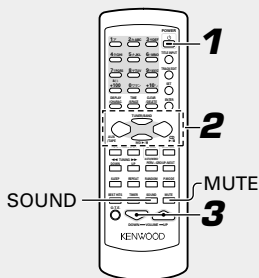
リモコンの使いかた

電池の入れかた

❷ 電池を入れる

❸ カバーを閉める

- 単3電池2個を極性（＋と－）マークにしたがって入れる。

操作のしかた

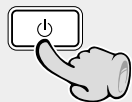
本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンPOWER (⏻) キーを押すと、電源がオンになります。
電源がオン になったら、操作したいキーを押します。
電源をスタンバイにするときは、再度 POWER (⏻) キーを押します。

- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、1秒以上の間隔をあけて押してください。

図はSK-5MDです。SK-7PROはリモコン受光部の位置が異なります。

- 付属の電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。
- 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

基本的な使いかた

1. 電源をオンにする（オフにする）

（本体）　（リモコン）

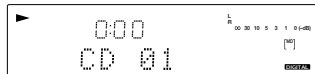
POWER

電源がオンのときに⏻キーを押すとオフ（スタンバイ）になります。
電源オフの操作をしてから、電源が切れるまでに、多少時間がかかります。

- 電源をオンにしてから約5秒間は、回路保護のためミュート（音が出ない）状態になります。

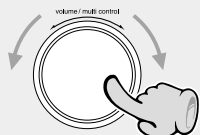
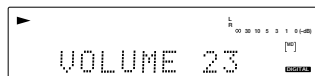
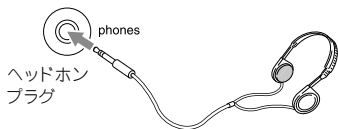
ワンタッチオペレーション機能
電源オフ（スタンバイ）状態の時、直に次のキーを操作すると、電源が入り、ソース（音源）が選ばれ、CD、MDのときは再生が始まります。
「**CD ▶/⏸**」キー、「**MD ▶/⏸**」キー、「**TUNER/BAND**」キー、「**AUX/TAPE**」キー。

2. 聴きたいソース（音源）を選ぶ

放送局の選局やCD、MDの再生のしかたは、以下のページの操作手順をご覧ください。

CDを聴く → 22
MDを聴く → 24
TUNERを聴く → 26
AUX/TAPEを聴く → 30

- リモコンの**MD▶/⏸**、**TUNER/BAND**、**CD▶/⏸**、**AUX/TAPE**キーを押してもソース（音源）を選ぶことができます。（**MD▶/⏸**、**CD▶/⏸**キーを押した場合は自動的に再生もはじまります。）

3. 音量を調節する

- 早く回すと、変化量が大きくなります。（AI VOLUME（ボリューム）機能）
- 表示部に目安の数字（0〜MAX）が表示されます。

ヘッドホン（別売）で聴く

- ヘッドホン（別売）のプラグをphones（ホンズ）端子に差し込みます。
- スピーカーから音が出なくなります。
- **volume/multi control**（ボリューム／マルチ コントロール）つまみを回して音量を調節します。
- プラグの抜き差しをするときは、あらかじめ音量を下げておいてください。
- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用してください。

基礎編

一時的に音を消す（リモコンのみ）

点滅

- 元の音量に戻すにはもう一度MUTE（ミュート）キーを押します。
- VOLUME（ボリューム）キーで音量を操作したときもミュートが解除されます。

左右のバランスを調整する（BALANCE（バランス））

❶ 次の手順で"BALANCE"を選ぶ

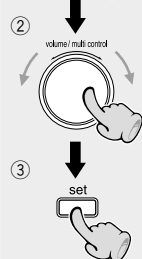
①

②

③

① menu（メニュー）キーを押す。

② volume（ボリューム）/multi（マルチ） control（コントロール）ツマミで"BALANCE"を選ぶ。

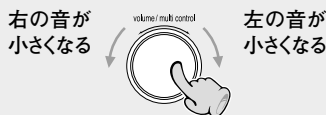
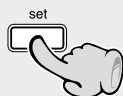
volume/multicontrolツマミを回すと次のように切り換わります。

- "MD REC（レック） MODE（モード）"
- "GROUP（グループ） MAKE（メイク） ?"
- "REC（レック） SPEED（スピード） ?"
- "REC（レック） LEVEL（レベル） ?"
- "AUX INPUT（インプット） ?"
- "TONE（トーン） ?"
- "BALANCE ?"
- "TIME（タイム） ADJUST（アジャスト） ?"
- "TIMER（タイマー） SET（セット） ?"
- "A.P.S. SET ?"
- "DIMMER ?"

20秒以内に次の操作をしない場合は元の状態に戻ります。

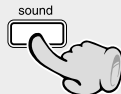
③ setキーを押す。

❷ volume（ボリューム）/multi（マルチ） control（コントロール）ツマミで左右の音量バランスを調節する。

右の音が小さくなる

左の音が小さくなる

❸ setキーを押す。

ソース（音源）のオリジナルな音を聴く（ソースダイレクト）

CDやMDなどソース（音源）の音を、本機の音質調整回路を通さずに、なるべく原音に忠実に聴くことができます。

❶ sound（サウンド）キーを繰り返し押し"S.DIRECT（ソースダイレクト）"を選ぶ。

押すごとに次のように切り換わります。

- "N.B. 1"（ナチュラルバス）
- "N.B. 2 "
- "TONE（トーン） 1"※
- "TONE 2"※
- "TONE 3"※
- "SOURCE（ソース） DIRECT（ダイレクト）"
- "SOUND MODE（モード） OFF（オフ）"

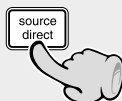
※"TONE 1(2,3)"は"BASS（バス）","TREBLE（トレブル）"ともに"0"に設定されているときは表示されません。→21

点灯

- ソースダイレクトを選ぶとN.B1、N.B2、やTONE1、TONE2、TONE3、は解除されます。
- 通常の状態に戻すにはsound（サウンド）キーを繰り返し押し"SOUND MODE OFF"を選びます。

ソースダイレクト機能を直接選ぶ（SK-7PROのみ）

（本体操作のみ）

点灯

- 通常の状態に戻すには上記❶の手順でsoundキーを繰り返し押し"SOUND MODE OFF"を選びます。

音質を調節する

TONE CONTROL

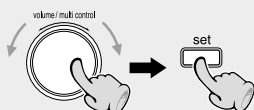
低音(BASS)と高音(TREBLE)をそれぞれお好みに応じてレベルを設定することができます。
トーンコントロールはあらかじめ3種類の音質を設定をすることができます。

TONE CONTROL音質の設定

❶ 次の手順で"TONE ?"を選ぶ。

① menuキーを押す。
② volume/multi controlツマミで"TONE ?"を選ぶ。
③ setキーを押す。

20秒以内に次の操作をしない場合は元の状態に戻ります。

❷ volume/multi controlツマミで"TONE 1 ?"(または2、3)を選び、setキーを押す。

❸ volume/multi controlツマミで低音(BASS)のレベルを調整して、setキーを押す。

TONE
BASS +4

−8から+8まで2ステップずつ変化します。

❹ volume/multi controlツマミで高音(TREBLE)のレベルを調整して、setキーを押す。

TONE
TREBLE +2

−8から+8まで2ステップずつ変化します。

● 設定が終了すると"COMPLETE"と表示されたあと元の表示に戻ります。

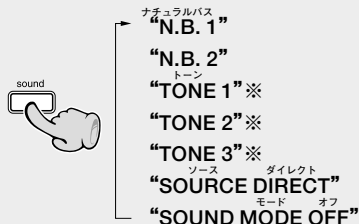
TONE CONTROLを適用して聴く

あらかじめ設定しておいたトーンコントロールのうちお好みの設定を選んでセットします。

❶ soundキーを繰り返し押し"TONE 1"、"TONE 2"または"TONE 3"を選ぶ。

押すごとに次のように切り換わります。

sound

"N.B. 1"
"N.B. 2"
"TONE 1"※
"TONE 2"※
"TONE 3"※
"SOURCE DIRECT"
"SOUND MODE OFF"

※ "TONE 1(2,3)"は"BASS","TREBLE"ともに"0"に設定されているときは表示されません。

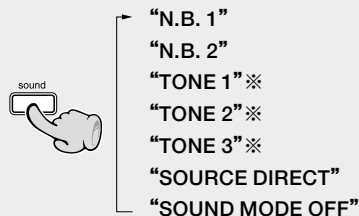
● 通常の再生に戻すにはsoundキーを繰り返し押し表示を消します。

N.B.サーキット

NB1:低音が強調されます。
NB2:低音がさらに強調されます。

❶ soundキーを繰り返し押し"N.B. 1"または"N.B. 2"を選ぶ。

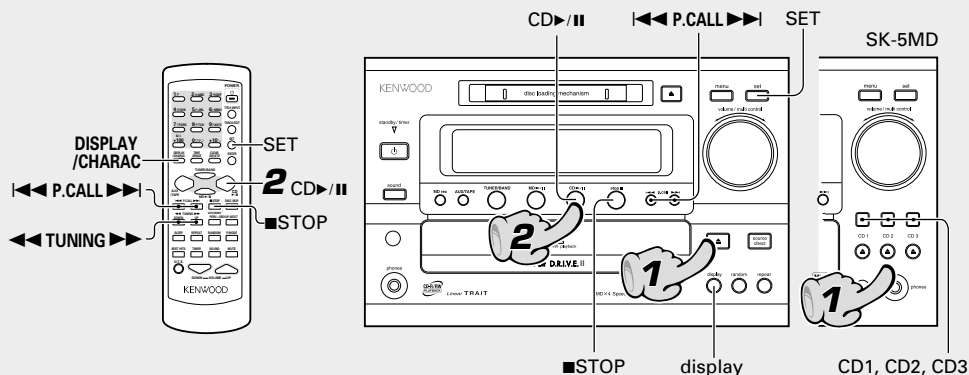
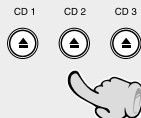
押すごとに次のように切り換わります。

"N.B. 1"
"N.B. 2"
"TONE 1"※
"TONE 2"※
"TONE 3"※
"SOURCE DIRECT"
"SOUND MODE OFF"

※ "TONE 1(2,3)"は"BASS","TREBLE"ともに"0"に設定されているときは表示されません。

● 通常の音質に戻すにはsoundキーを繰り返し押しSOUND MODE OFFを選びます。

基礎編

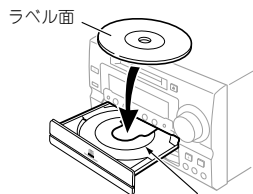
CDを聴く

SK-5MDは3枚のディスクを収納できます。再生中でも他の2枚のディスクの入れ替えができます。

SK-7PRO　SK-5MD

SK-5MD
CD1-3の▲キーを押すとその番号のCDトレイが開き、もう一度同じキーを押すとCDトレイが閉じます。CDトレイが開いているときに別の番号キーを押すと、CDトレイが閉まってから、押した番号のCDトレイが開きます。

1. ディスクを入れる

❶ CDトレイを開ける
❷ ディスクを入れる
❸ CDトレイを閉める

SK-5MDでは❶〜❸を繰り返して、3枚までディスクを収納できます。

- CDトレイを閉める時は必ず▲キーを押して閉めてください。
- CDの再生面には、触れないようにしてください。
- 市販のCDシングル（8cm）ディスクアダプターは使用できません。

図は SK-7PRO の例です。

ディスクの置きかた

ディスクはトレイの溝に合わせて、正しく置いてください。（ディスクを斜めに置くと故障の原因となります。）

2. 再生を始める

- ディスクの再生がはじまります。

SK-5MD

- 本機に複数のディスクが入っている場合、1枚の再生が終了したら次のディスクが自動的に再生されます。全てのディスクを再生して止まります。（リレー再生）

再生を止める

一時停止する

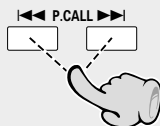
点灯

II

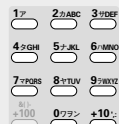
- 一時停止表示（II）が点灯します。
- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

基礎編

曲を飛び越す(スキップ)

(本体)　　　　　　　　　(リモコン)

- 再生中、または停止中に⏮または⏭キーを押すと、曲を飛び越して選んだ曲の最初から再生します。前の曲に戻るには、⏮キーを連続して素早く押します。
- 再生中に⏮キーを1回だけ押すと、その曲の最初に戻り再生します。

数字キーを使って曲番を選ぶ

リモコンの数字キー(0〜9、+10)を押して、聴きたい曲を簡単に選ぶことができます。

23曲目を選ぶとき

+10, +10, 3 の順に押す

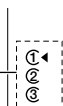
30曲目を選ぶとき

+10, +10, +10, 0 の順に押す

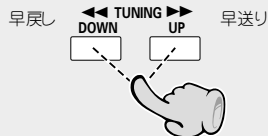
好きなディスクから再生を始める

(SK-5MD)

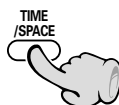
- 再生したいディスクのキーを押します。
- 選択したトレイにディスクが入っていない場合次のディスクから再生が始まります。

SK-5MDのディスク表示について

1 --- ディスク番号を表示。
② --- ディスク情報が読み込まれているときCが点灯。
③◀--- 選択されているディスク番号に◀印が点灯。
CD ▶/⏸キーを押すと◀印のついているディスクから再生が始まります。

早送り・早戻しする(リモコンのみ)

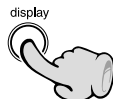
(リモコン)

- 再生中に押しつづけます。
- 手を離したところで再生に戻ります。

CDの時間表示について(リモコンのみ)

CDの再生中、TIME/SPACE(タイム/スペース)キーを押すたびに表示部の時間表示が切り換わります。

① 曲の経過時間　1:23
② 曲の残り時間　REMAIN表示 2:37
③ ディスクの総経過時間　TOTAL表示 23:50
④ ディスクの総残り時間　REMAIN表示 TOTAL表示 36:50

- 1曲リピート、またはランダム再生時は、①と② のみの表示となります。
- プログラム再生時、④ はプログラムされた曲の総残り時間表示となります。

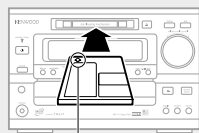
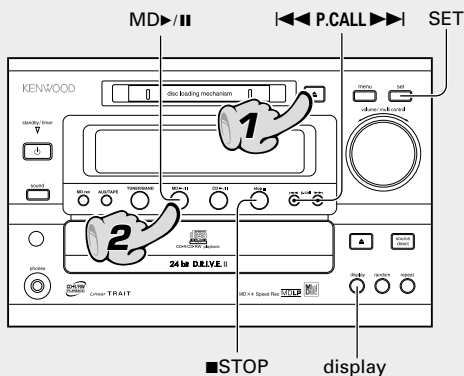
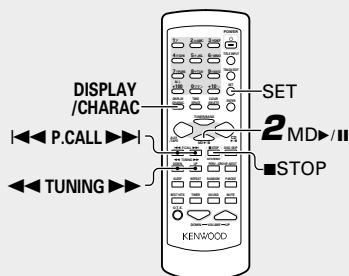
タイトル表示について(リモコンのみ)

CD TEXT(テキスト)対応ディスクを再生する場合、CD再生中(または停止中)に display(ディスプレイ)(DISPLAY/CHARAC.)キーを押すと、CDに記録されている文字情報を表示部に表示することができます。
キーを押すたびに、以下の項目が切り換わります。

(本体)　　　　　　　　　(リモコン)

ディスクタイトル*1
→トラック番号(曲番)→トラックタイトル(曲名)*1

*1 停止中はディスクタイトルを表示します。
再生中はトラックタイトル(曲名)をスクロール表示します。

基礎編

MDを聴く

矢印の方向に入れる

ディスクを取り出すには

1. ミニディスクを入れる

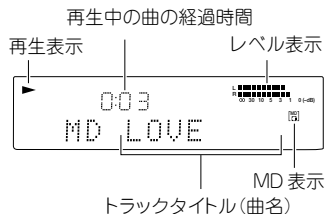
- ミニディスク挿入口に確実に差し込んでください。

タイトルが入っていないときの表示例

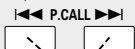
電源がオフ（スタンバイ）状態のときは、ミニディスクの出し入れはできません。必ず電源をオンにしてからミニディスクを挿入してください。スタンバイ状態のときに無理にミニディスクを入れると故障の原因となります。

3. 再生を始める

- 録音されたモード（標準、2倍、4倍）で再生します。
- 再生中は、各曲の最初にトラックタイトル（曲名）を表示します。
- "READING"の点滅中にミニディスクにない曲を選ぶと、ミニディスクの最後の曲を再生します。

MD►/II

MD表示：MDがセットされているときマークが点灯します。

再生を止める

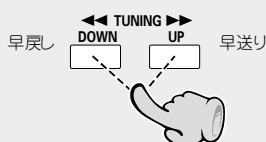
一時停止する

点灯

- 一時停止表示（II）が点灯します。
- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

基礎編

曲を飛び越す（スキップ）

- 再生中、または停止中に|◀◀または▶▶|キーを押すと、曲を飛び越して選んだ曲の最初から再生します。前の曲に戻るには、|◀◀キーを連続して素早く押します。
- 再生中に|◀◀キーを1回だけ押すと、その曲の最初に戻り再生します。

早送り・早戻しする（リモコンのみ）

- 再生中に押しつづけます。
- 手を離したところで再生に戻ります。

数字キーを使って曲番を選ぶ

リモコンの数字キー（0〜9、+10、+100）を押して、聴きたい曲を簡単に選ぶことができます。

23曲目を選ぶとき
+10, +10, 3 の順に押す

30曲目を選ぶとき
+10, +10, +10, 0 の順に押す

113曲目を選ぶとき
+100, +10, 3 の順に押す

タイトル表示について（リモコンのみ）

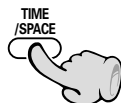
MDの再生中（または停止中）にdisplayキーを押すと、ミニディスクに記録されている文字情報を表示部に表示することができます。

① [再生中] トラックタイトル（曲名）
[停止中] ディスクタイトル
② トラック番号（曲番）表示
③ 録音残り時間表示（下図）

001　R74:10

録音済みのトラック数　録音可能残り時間

MDの時間表示について（リモコンのみ）

MDの再生中、TIME/SPACEキーを押すたびに表示部の時間表示が切り換わります。

① 曲の経過時間　1:23
② 曲の残り時間　REMAIN表示　2:37
③ ディスクの総経過時間　TOTAL表示　23:50
④ ディスクの総残り時間　REMAIN表示 TOTAL表示　36:50

- 1曲リピート、ランダム再生時は、①と②のみの表示となります。
- プログラム再生時、④はプログラムされた曲の総残り時間表示となります。

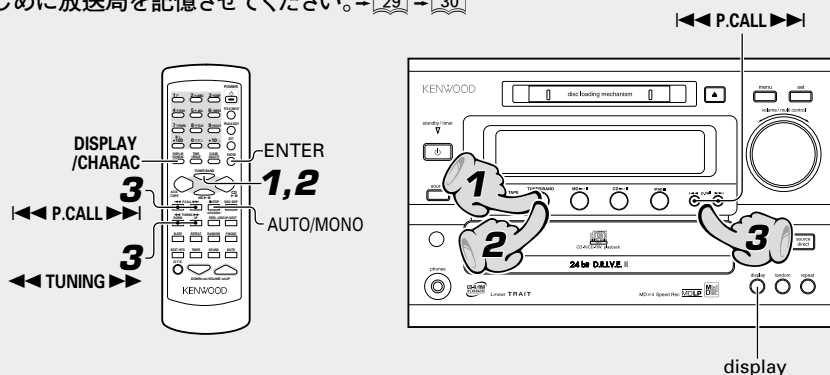
MDの再生モードについて（録音モード→31）

MDの曲は、録音したときの録音モード（REC MODE）に従って再生されます。

MDLPはMD規格に適合した新しい音声圧縮方式ATRAC3を採用して、ステレオ2倍（または4倍）の長時間録音、再生モードの機能を持ったMDレコーダーやMDプレーヤーまたは、ATRAC3により音声録音されているMDメディア（再生専用MD）に表示されています。

2倍長録音表示

SK-5MD/SK-7PRO/J

放送局を最大40局まで記憶させ、ワンタッチで受信できます。
はじめに放送局を記憶させてください。→29 →30

1. TUNER/BANDを選択する

- TUNER/BANDキーを押すとチューナー（ラジオ放送）が選択されます。

2. 放送バンドを選択する

押すたびに切り換わります。

① "FM"
② "AM"

放送バンドの表示

3. 選局する

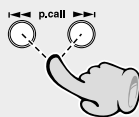
放送局を記憶させている場合

- オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、⏮ キーまたは ⏭ を押して選局します。押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。
  ⏭ を押すと… 1→2→3 ..... 38→39→40→1 .....
  ⏮ を押すと… 40→39→38 ..... 3→2→1→40.....
- リモコンでは、⏮ P.CALL ⏭ キーあるいは数字キー（+10、0〜9）を押して選局します。

放送局を記憶させていない場合（リモコンのみ）

- オート選局のとき→27：◀◀または▶▶キーを押すと、次の放送局を自動的に受信します。
- マニュアル選局のとき→27：◀◀または▶▶キーを受信するまで繰り返し押します。あるいはキーを押し続け、受信したい放送局の周波数になったら離します。

同調表示
オート選局表示
ステレオ放送受信表示

基礎編

オート選局またはマニュアル選局を選ぶ

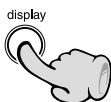
お買い上げ時はオート選局／ステレオ受信になっていますが、電波が弱く雑音が多い場合はマニュアル選局／モノラル受信を選んでください。
音声はモノラルになりますが聴き取り易くなります。

❶ TUNERを選んでいるときに、■STOP／（AUTO/MONO）キーを押す。
押すたびにオート選局とマニュアル選局が切り換わります。

（本体）　　　　（リモコン）

● 通常はオート選局にしておきます。

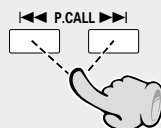
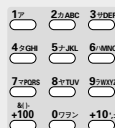
チューナーの表示について

（本体）（SK-7PROのみ）　　（リモコン）

放送局を受信中にDISPLAYキーを押すたびに表示部の表示が切り換わります。

① TUNER P-07　（プリセット番号表示）
（放送局名が登録されていないとき）
NHK-FM　（放送局名表示）
（放送局名が登録されているとき）
② 3:00 pm　（時刻の表示）

放送局を一局ずつ記憶させる（マニュアルプリセット）（リモコンのみ）

❶ 記憶させたい放送局を受信中にENTERキーを押す

❷ |◀◀キーまたは ▶▶|キーを押して 記憶させたいプリセット番号を選ぶ

● または、数字キー（+10、0～9）を押してプリセット番号を選びます。

40以上の番号は選べません。

❸ ENTERキーを押してプリセットを確定する

● ENTERキーを押さずに数秒経つとプリセットされずに、元の状態に戻ります。
● プリセットを続けるときは、手順❶～❸を繰り返します。
● 同じプリセット番号に重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。

基礎編

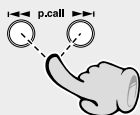
放送局をオートプリセットする （エリア別FM放送局名自動表示）

**お住まいの都道府県名を設定すると、近くで受信出来る放送局が自動的にプリセット（記憶）されます。
これらの放送局を受信すると、放送局名を（FM放送のみ）表示することができます。**

リモコンのみ

❶ ソース（音源）がTUNER（チューナー）のときに、ENTER（エンター）キーを2秒以上押し続ける。

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を登録していない場合は、**"ケンメイ ミセッテイ？"** と表示されます。

❸ ⏮キー または ⏭キーを押してお住まいの都道府県名を選ぶ

東京都を選択したとき

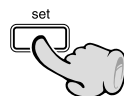
- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、**"放送局名リスト"**に従ってオートプリセットされます。➡29
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。➡27
- オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。
  放送局名表示は放送局名リストに載っているFM放送局のみに対応しています。

❹ ENTER（エンター）キーを押す

- **"AUTO PRESET"**が点滅して順次FM局を記憶して、次にAM局を記憶します。
- 選択した都道府県を記憶した後、隣接した県を記憶して最大40局まで記憶します。

オートプリセット終了後、FM受信中は放送局名が表示されます。

希望の放送局名が表示されないとき（リモコンのみ）
放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、SET（セット）キーを押してリストにある別の放送局名に変えることができます。押すたびに放送局名が変ります。

基礎編

- 受信中の周波数に放送局名が登録されていない場合、または放送局を受信していない場合は、放送局名が表示されません。
- オートプリセットが終わると、一番最初にオートプリセットした放送局を受信します。受信中の周波数に放送局名が登録されていない場合は、**"TUNER"** と表示します。

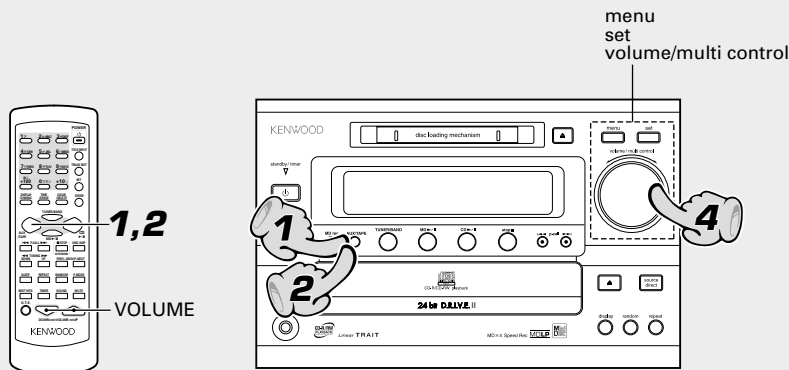
SK-5MD/SK-7PRO/J

放送局名リスト

2002年 7月現在

	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G'
	エフエム・ノースウェーブ	north wave
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	FMセンダイ
	エフエム秋田	Co - much FM
	エフエム山形	FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FMイシカワ
	福井エフエム放送	FMフクイ
	静岡エフエム放送	K・MIX

	放送局	表示名
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
	愛知国際放送	RADIO - i
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	E - Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
中国・四国地方	エフエム山陰	V - air
	エフエム岡山	FMオカヤマ
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	FMトクシマ
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FMコウチ
九州・沖縄地方	エフエム福岡	FM FUKUOKA
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	FMナガサキ
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY - FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一放送	NHKラジオ 1
	AFN オキナワ	AFNオキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

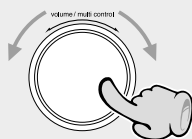
SK-5MD/SK-7PRO/J

1. AUX/TAPE（テープ）キーを押す

AUX/TAPEキーを押すと外部入力、テープ、デジタル入力に切り換わります。

2. 外部入力、テープまたはデジタル入力を選択する

AUX/TAPEキーを2秒以上押し続けると下のように入力が切り換わります。

① AUX　：背面 AUX 端子に接続した機器の再生
② TAPE　：背面 TAPE 端子に接続した機器の再生
③ DIGITAL IN ：背面 DIGITAL IN 端子に接続したデジタル機器の再生

3. 外部ソースの再生を始める

4. 音量を調節する

AUX選択時の入力レベルを調整する

AUX端子に接続したソース機器の音声出力レベルが、本機の入力レベルと合わない（音が大きすぎる、または小さすぎる）場合、調整することができます。

❶ 次の手順で“AUX INPUT（インプット）　?”を選ぶ
① menu（メニュー）キーを押す。
② volume/multi control（ボリューム マルチ コントロール）ツマミで “AUX INPUT ?”を選ぶ。
③ setキーを押す。

❷ volume/multi controlツマミで 入力レベルを調節する

入力レベルは－5～＋2まで調節できます。

❷ setキーを押し入力レベルを確定する

MDのステレオ長時間録音と再生について

本機は、MDのステレオ長時間録音と再生に対応しています。（MDLP対応機器です）
録音モードにはステレオ録音、モノラル長時間録音、ステレオ2倍長時間録音、ステレオ4倍長時間録音があり、本機のMDで録音できる全ての音楽ソースに使用できます。
また、同じMDに異なる録音モードの曲を混在させて録音することもできます。
録音をする前に録音モードの設定を行ってから、それぞれの録音操作をしてください。

ステレオ長時間録音について（LP2、LP4）

ステレオ長時間録音は、ステレオ録音、モノラル録音に比べ音声のデジタル圧縮率をさらに高め、長時間での録音を可能にしています。LP4モードはLP2モードに比べさらに圧縮率を高め、長時間録音をします。

- 本機のMDでステレオ2倍長時間録音（LP2）またはステレオ4倍長時間録音（LP4）で録音された曲は、MDLPに対応した機器で再生することができます。
- MDにステレオ音声で録音する場合、長時間録音になるにしたがって録音される音質が変化します。最も良い音質で録音したいときは、ステレオ録音（STEREO）で録音してください。

録音モードの種類

ステレオ録音（STEREO）：
録音可能時間はMDカートリッジに表示されている時間になります。

ステレオ2倍長時間録音（LP2）：
音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。

ステレオ4倍長時間録音（LP4）：
音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約4倍の時間になります。

モノラル長時間録音（MONO）：
録音される音声はモノラルになりますが、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。

スタンプ（STAMP）機能

本機でステレオ2倍長時間録音（LP2）またはステレオ4倍長時間録音（LP4）で録音された曲のタイトルの始めの部分に「LP：」を自動的につける機能です。スタンプ機能を使っているときは、曲タイトルの頭の部分に「LP：」が表示されます。

「**LP：**」は本機での再生中には表示されません。タイトル編集時のみ表示されます。

「**LP：**」は、MDLPに対応していない機器でステレオ長時間録音された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。

本機では、スタンプ（STAMP）機能のON（「**LP:**」をつける）またはOFF（「**LP:**」をつけない）の設定もすることができます。

ステレオ長時間モードで録音したMDをステレオ長時間モードに対応していない機器で再生した場合

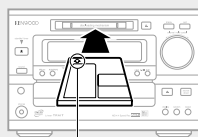
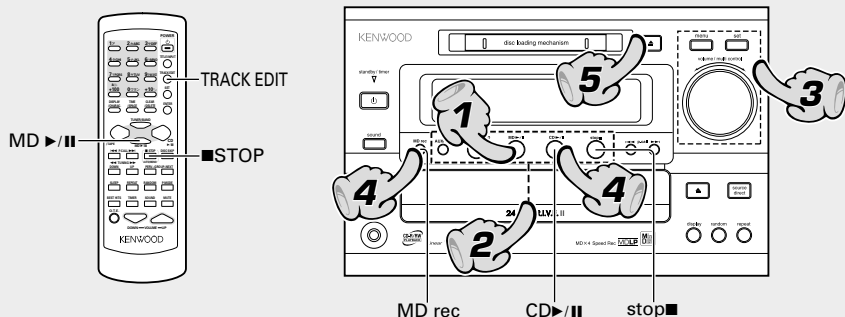
ステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音した曲を再生すると再生状態にはなりますが音は出ません。これらの機器でステレオまたはモノラル録音とステレオ長時間録音された曲が混在しているMDを再生したときは、ステレオまたはモノラル録音された曲だけ音が出ます。
このようなMDを再生した場合、音が出ていないときに音量を上げすぎると、ステレオまたはモノラル録音された曲にかわったときに突然大きな音がでることになります。音量の上げすぎに注意してください。

基礎編

メモ

- 異なる録音モードで録音した曲はMDの編集機能で制限があります。"曲をつなぐ（CONBINE）" → 56

MDに録音する

MDへの録音は、すべての録音機能でATRAC3(MDLP)での長時間録音ができます。
ここで説明するMD recキーを使った録音方法は、主にチューナーと外部ソース機器を録音するときに便利です。
CDを録音するには"ワンタッチエディット録音(O.T.E.)"をお勧めします。→44

1. MDの録音準備をする

矢印の方向に入れる

- 録音可能なミニディスクをミニディスク挿入口に確実に入れてください。
- すでにミニディスクを再生しているときは、stop■キーを押してください。
- 未録音部分の頭出しをする必要はありません。
- ミニディスクの未録音部分が少ないときは、"ERASE"機能(→58)を使って、十分な未録音部分を作ってから録音してください。

⚠ 注意 **電源がオフ(スタンバイ)状態のときは、ミニディスクの出し入れはできません。必ず電源をオンにしてからミニディスクを挿入してください。スタンバイ状態のときに無理にミニディスクを入れると故障の原因となります。**

2. 録音したいソース(音源)を選ぶ

(例)TUNERを選んだ場合

ラジオ放送の録音(アナログ録音)

TUNERキーを選択→希望の放送を受信する。→26

CDの録音(デジタル/アナログ録音*)

CD ►/❚❚キーを選択→録音したい曲の頭で一時停止する。→22

テープの録音(アナログ録音)

"TAPE"を選択→録音したい部分の頭で一時停止する。→30

外部機器(AUX)の録音(アナログ録音)

"AUX"を選択→頭出しなどの準備をする。→30

外部機器(AUX)のデジタル録音

"DIGITAL"を選択→頭出しなどの準備をする。→30

テープ、外部入力の切り換えについては30ページを参照してください。

* お買い上げ時の録音形式はCDはデジタルになっています。
必要に応じてアナログに切り換えてください。→35

基礎編

3. 録音モードを設定する

❶ 次の手順で"REC MODE"を選ぶ

① menu(メニュー)キーを押す。
② volume/multicontrol(ボリューム/マルチコントロール)ツマミで "MD REC MODE(レック モード)"を選ぶ。

20秒以内に次の操作をしない場合は元の状態に戻ります。

③ setキーを押す。

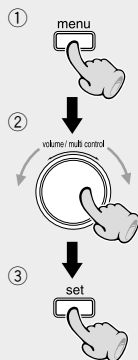
❷ 希望の録音モードを選ぶ

① volume/multicontrol(ボリューム/マルチコントロール)ツマミで 希望の録音モードを選ぶ。

"STEREO(ステレオ)"... ステレオ録音：MDカートリッジに表示されている時間分録音できます。
"LP2"........... ステレオ2倍長時間録音：MDカートリッジに表示されている約2倍の時間分録音できます。
"LP4"........... ステレオ4倍長時間録音：MDカートリッジに表示されている約4倍の時間分録音できます。
"MONO(モノ)"...... モノラル録音：MDカートリッジに表示されている約2倍の時間分のモノラル録音ができます。

② setキーを押す。

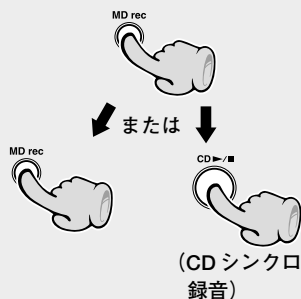
❸手順❷でLP2またはLP4を選んだときは、volume/multi controlつまみを回してLP:STAMPの"ON"または"OFF"を選びsetキーを押す。

"LP:STAMP ON" ：曲タイトルの頭の部分に「LP:」の文字が入る。
"LP:STAMP OFF" ：曲タイトルの頭の部分に「LP:」の文字が入らない。

4. 録音をはじめる

（CD シンクロ録音）

❶ MD rec(レコーディング)キーを押す（録音一時停止状態になります）
❷ 準備ができていれば、再度MD recキーを押す（録音がはじまります）
- ソースがCDのとき、►/❚❚キーを押すとCDの再生とMDの録音がはじまります。（CDシンクロ録音）

❸ ソース（音源）の再生をはじめる

チューナーの場合、またはCDシンクロ録音の場合は、この手順は不要です。
- 録音レベルの調整が必要な場合は、録音一時停止中に行います →35

5. 録音終了後、ミニディスクを取り出す

- 録音が終わったら、必ずミニディスクを取り出してください。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音を一時停止する

（本体）

（リモコン）

- 再度録音をはじめるには、MD►/IIキーを押します。このとき、トラック番号は**"1"**繰り上がります。
- CD録音中のみ、**CD►/II**キーを押して録音とCD再生を一時停止することができます。録音とCD再生を再開するには**CD►/II**キーを押します。

録音を停止する

（本体）

（リモコン）

- 録音を終了するときは、必ずミニディスクを取り出す操作をしてください。（前ページを参照してください）

CD-TEXTが記録されているCDの場合、TEXTデータは記録されません。

ディスプレイのメッセージについて

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

"DISC FULL"　：ミニディスクが一杯になっている。
➡不要な曲を消す。 →58

"PROTECTED"：誤消去防止つまみが開いている。
➡閉める。 →72

"PLAY ONLY"　：再生専用ミニディスクである。
➡録音用ミニディスクを入れる。

録音時のトラック番号について

CDからの録音では、曲の切り換わりに合わせてトラック番号が繰り上がります。
外部入力機器からの録音のとき、入力信号が2秒以上一定レベル以下になって、次にそのレベルを超える信号が入ってくると、トラック番号を自動的に**"1"**繰り上げます。また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が**"1"**繰り上がる場合があります。不要なところでついたトラック番号は、あとで削除できます。（「曲をつなぐ」→56）

- チューナー録音の場合は、10分毎に自動的にトラック番号が繰り上がります。必要に応じて編集してください。（「曲を分ける」→54、「曲をつなぐ」→56）

もし、録音の途中でトラック番号を繰り上げたいときは、録音中にリモコンの**TRACK EDIT**（トラック エディット）キーを押すと、その位置にトラック番号をつけることができます。
このとき、REC MODEがLP2またはLP4の時は“LP:SET”と表示されます。
トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

録音中に押す

基礎編

CDの録音形式を選ぶ

（ソースがCDのとき）

市販のCDをMDに録音する場合、録音形式はお買い上げ時と同じ"DIGITAL"（デジタル録音）を選びます。しかし、CDをMDに録音する場合、SCMS*によりデジタルで録音ができないことがあります。この場合は、録音形式を"ANALOG"（アナログ録音）に切り換えてください。

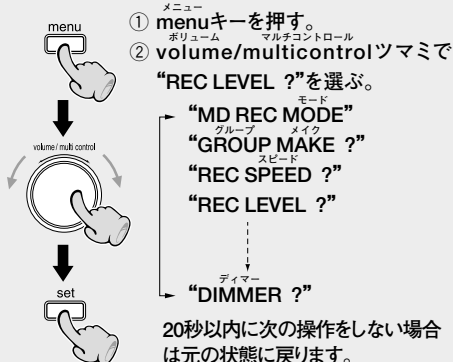
*詳しくは"SCMSについて"をご覧ください。 →73

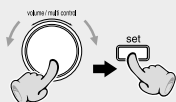
❶ 入力をCDにする。

❷ 次の手順で“REC LEVEL ?”を選ぶ。

① menuキーを押す。
② volume/multicontrolツマミで“REC LEVEL ?”を選ぶ。

“MD REC MODE”
“GROUP MAKE ?”
“REC SPEED ?”
“REC LEVEL ?”
⋮
“DIMMER ?”

20秒以内に次の操作をしない場合は元の状態に戻ります。

③ setキーを押す。

❸ volume/multicontrolツマミで“ANALOG”（アナログ録音）または“DIGITAL”（デジタル録音）を選び、setキーを押す。

録音レベルを調整する

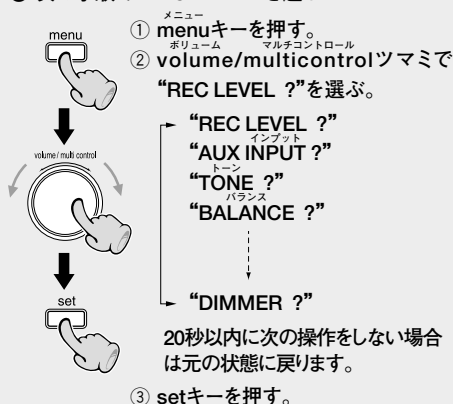
❶ 録音する入力ソース（音源）を再生する。

❷ MD recキーを押し録音一時停止状態にする。
録音一時停止状態にしておくとレベル表示を確認しながら録音レベルの調整をすることができます。

❸ 次の手順で“REC LEVEL”を選ぶ

① menuキーを押す。
② volume/multicontrolツマミで“REC LEVEL ?”を選ぶ。

“TONE ?”
“BALANCE ?”
⋮
“DIMMER ?”

20秒以内に次の操作をしない場合は元の状態に戻ります。

③ setキーを押す。

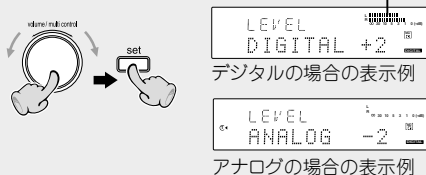
❹ volume/multi controlつまみを回して録音レベルを調節し、setキーを押す。

アナログまたはデジタルは入力ソースによって、自動的に選ばれます。

レベル表示が頻繁に“0”以上にならないようにします。

レベル表示

デジタルの場合の表示例

アナログの場合の表示例

- アナログ録音レベルは－12～0まで調節できます。初期の設定値は0です。
- デジタル録音レベルは－6～＋6まで調節できます。初期の設定値は0です。
- CDの4倍速O.T.E.録音時（→42）、レベル設定の値に関わらず録音レベルは“0”（基準値）で録音されます。

録音レベルの設定は一度録音を終わると、“0”（基準値）に戻ります。

基礎編

SK-5MD/SK-7PRO/J

曲順を並べ替えて聴く（PGMモード再生）

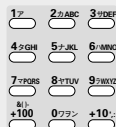
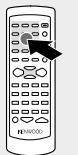
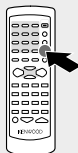
ディスクの中から好きな曲を、好きな曲順で聴くことができます。SK-5MDのCDの場合は、複数のディスクから選ぶことができます。（最大32曲）

あらかじめソース（音源）をCDまたはMDの停止状態にしてください →22 →24

リモコンのみ

❶ P.MODEキーを押す。

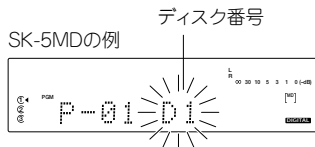
● "PGM"が点灯しPGMモードになります。

❷ SK-5MDのCDをプログラムするときはDISC SKIPキーを押して、ディスクを選ぶ。

● ディスクの入っていない番号は選べません。

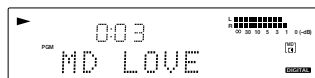
● 本体の CD 1 CD 2 CD 3 キー（CDプレイキー）のいずれかを押してもディスクを選ぶことができます。

❸ 数字キー（0～9、+10、+100、）を押して曲を選ぶ。（+100キーはMDの時のみ有効です。）

● 20秒以内に次の操作をしない場合は元の状態に戻ります。

❹ setキーを押して選んだ曲を確定する。

● 確定した後しばらくの間、次の操作をしないとプログラム停止状態になります。プログラムを続けるときは、"曲を追加する"の手順でプログラムをします。

❺ 手順❷～❹を繰り返してプログラムを続ける。

❻ CD▶/IIキー（MD▶/IIキー）を押してプログラム再生をはじめる。

● 32曲までプログラムできます。"PGM FULL"が表示されると、それ以上プログラムできません。
● プログラムした順（P-番号順）に再生します。
● PGMモード再生、停止中にREPEATキーを押すと、PGMモード再生を繰り返すことができます。

プログラムした曲を取り消す

プログラムした最後の曲から1曲ずつ取り消す方法とすべての曲を一度に取り消す方法があります。

リモコンのみ

最後の曲から取り消していくとき

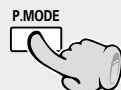
PGM（プログラム）モードの停止中に操作します。

● CLEAR/DELETE（クリアー／デリート）キーを押す

- CLEAR/DELETEキーを押すごとに最後の曲から1曲ずつ取り消されます。

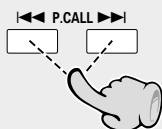
すべての曲を取り消すとき

PGMモードの停止中に操作できます。

● P.MODE（プログラムモード）キーを押して"PGM"を消灯させる

- すべての曲が取り消されます。

PGMモードを解除する

上記"全ての曲を取り消すとき"の手順でPGMモード再生を解除することができます。

曲の途中で次の曲に移る

- プログラム再生中に▶▶|キーを押すと、次の曲に飛び越します。
- 再生中に|◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻り再生します。

曲を追加する

プログラムした最後の曲のあとに追加できます。

リモコンのみ

PGM（プログラム）モードの停止中に操作します。

❶ SK-5MDのCDをプログラムするときはDISC SKIP（ディスク スキップ）キーを押して、ディスクを選ぶ

❷ 数字キー（0～9、+10、+100、）を押して曲を選ぶ。（+100キーはMDの時のみ有効です。）

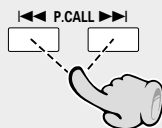
- "PGM FULL"が表示されるとそれ以上プログラムを続けられません

❸ set（セット）キーを押して選んだ曲を確定する

- 追加したい曲番号を選ぶとプログラムの最後に追加されます。

❹ 手順❶～❸を繰り返してプログラムを続ける

プログラムした曲の内容を確認する

（PGMモード停止中のみ）
プログラム終了後、|◀◀、▶▶|キーを押す

- 押すたびに順にプログラムされた曲が表示されます。

応用編

繰り返し聴く(リピートモード)

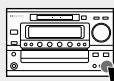
好きな曲1曲や、ディスク全体を繰り返し再生することができます。

1曲リピート .... 選んだ曲を繰り返し再生します。
1ディスクリピート .... 1枚のディスク全体を繰り返し再生します。
MDのグループを選んだ場合グループ内を繰り返し再生します。(→51)
オールディスクリピート .... (SK-5MDのCD再生時のみ)すべてのディスクを繰り返し再生します。

あらかじめソース(音源)をCDまたはMDにしてください →22 →24

再生中または停止中にREPEAT(リピート)キー(repeat(リピート)キー)を押す。

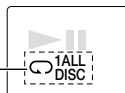
リモコン

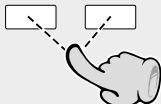
本体 (SK-7PRO のみ)

押すごとに次のように切り換わります。

(SK-7PROのCD、MD再生時、SK-5MDのMD再生時、)

- 表示なし :リピート解除
- 1 :1曲リピート再生表示
- :1ディスクリピート再生表示

(SK-5MDのCD再生時)

- 表示なし :リピート解除
- 1 :1曲リピート再生表示
- 1 DISC :1ディスクリピート再生表示
- ALL DISC :オールディスクリピート再生表示

● リピートモードを解除するときはREPEATキー(repeatキー)を繰り返し押し、リピート表示を消す。

曲の途中で次の曲に移る

- リピート再生中に▶▶|キーを押すと、次の曲に飛び越します。
- 再生中に|◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻り再生します。

プログラムした曲を繰り返し再生する

❶ プログラムをする→36

❷ REPEATキーを押す

押すごとにリピートモードが切り換わります。

① プログラムリピート オン
② プログラムリピート オフ

順不同に聴く(ランダムモード)

1枚のディスク、またはすべてのディスク(SK-5MDのCD再生時)の曲を順不同に再生することができます。

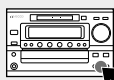
(1ディスク)ランダム .... 1枚のディスク全体の曲を順不同に再生して停止します。
MDのグループを選んだ場合グループ内の全曲を順不同に再生します。(→51)

(SK-5MDのCD再生時のみ)
オールディスクランダム .. CD1のディスク全体の曲を順不同に再生したあと、CD2、CD3のディスクを順不同に再生して、停止します。

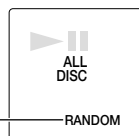
あらかじめソース(音源)をCDまたはMDにしてください →22 →24

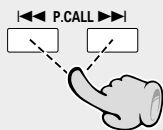
再生中または停止中にRANDOMキー(randomキー)を押す。

リモコン

本体(SK-7PROのみ)

押すごとに次のように切り換わります。

(SK-7PROのCD、MD再生時、SK-5MDのMD再生時、)
- 表示なし ：ランダム再生解除
- RANDOM点灯 ：ランダム再生

(SK-5MDのCD再生時)
- 表示なし ：ランダム再生解除
- 1 DISC RANDOM点灯 ：ランダム再生
- ALL DISC RANDOM点灯 ：オールディスクランダム再生

● ランダムモードを解除するときはRANDOMキー(randomキー)を繰り返し押し、RANDOM表示を消す。

曲の途中で次の曲に移る

- ランダム再生中に▶▶|キーを押すと、次の曲をランダムに選んで再生をします。。
- 再生中に|◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻り再生します。

ランダム再生を繰り返えす

❶ 上記のランダム再生の操作をする

❷ REREATキーを押す

押すごとにリピートモードが切り換わります。

① ランダムリピート　オン
② ランダムリピート　オフ

応用編

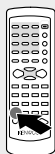
SK-5MD/SK-7PRO/J

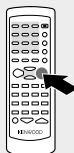
好きなCDの一曲目だけを再生する（BEST HITSプログラム再生）（SK-5MDのみ）

セットしたすべてのCDの一曲目だけをトレイ1から順に再生します。1枚目のCDの1曲目を再生し終わると、次のCDの1曲目を再生します。1枚のCDを再生中に他のトレイのCDを入れ替えることができます。
複数のCDのヒット曲を続けて再生したり、録音するときに便利です。（BEST HITSプログラム録音→45）

リモコンのみ

❶ CDトレイにディスクを入れる。→22

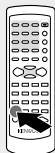
❷ CD停止状態にする。→22

❸ BEST HITSキーを押す。

❹ CD ►/❚❚ キーを押す。

- 選ばれているディスクの一曲目の再生をして、次のディスクの一曲目の再生に移ります。
- すべてのディスクの再生が終わると停止します。
- リピートモード再生と組み合わせてBEST HITSプログラム再生することはできません。

順にディスクを入れ替えていくと、入れ替えた順番で再生を続けることができます。

BEST HITSプログラム再生を停止する

STOPキーを押して再生を停止する。

BEST HITSプログラム機能を解除する

BEST HITSプログラムモードの時、BEST HITSキーを押す。

便利な録音あれこれ

MDへの録音は、すべての録音機能で長時間録音（MD LP2、LP4）ができます。

録音のタイプを選ぶ

本機では、通常の録音の他に次のような録音機能があります。

CDの録音をカンタンにしたいときは
➡ワンタッチエディット録音（O.T.E.）

全曲録音（O.T.E.（ワンタッチエディット）） ➡ CDの全曲を、カンタンな操作でMDに録音することができます。→42

一曲録音（O.T.E.（ワンタッチエディット）） ➡ その時に聴いているCDの曲だけを、カンタンな操作でMDに録音することができます。→43
（はじめて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。）

“REC SPEED（レコーディングスピード）”を“HIGH（ハイ）”に設定しておくと通常再生の4倍のスピードでMDに録音することができます。→42

曲を選び曲順を並べ替えて録音をしたいときは
➡プログラム録音（PGMモード再生＋O.T.E.）

プログラム録音 ➡ プログラムした曲順で録音します。→44
（CDの曲を、好きな曲順にプログラムしてMD録音するときに便利です。）

好きなCDの一曲目だけを録音したいときは
➡ベストヒッツプログラム録音（BEST HITS）

BEST HITS（ベスト ヒッツ）プログラム録音 ➡ ベストヒッツプログラムで再生された曲を録音します。
（お気に入りのオリジナルヒット曲集を作るときに便利です。）

CD全曲を一つのグループとして録音をしたいときは
➡グループ録音（GROUP（グループ） MAKE（メイク）＋O.T.E.）

グループ録音 ➡ 録音したCDの曲を一つのグループとして録音します。→47
（たくさんの曲を録音したMDでもアーティスト別や、アルバム毎にグループにして録音しておくと簡単に好みのジャンルが選べて便利です。）

メモ
- ミニディスクに録音した後は、⏏キーを押して必ずディスクを取り出してください。

CDの全曲、一曲をワンタッチで録音する(O.T.E.)

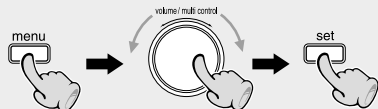
CDの全曲をワンタッチで録音する(通常速度、4倍速)(全曲O.T.E.)

本体操作

❶ 次の手順で"REC SPEED ?"を選ぶ

① menuキーを押す。
② volume/multicontrolツマミで "REC SPEED ?"を選ぶ。
③ setキーを押す。

volume/multicontrolツマミを回すと次のように切り換わります。

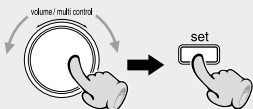
20秒以内に次の操作をしない場合は元の状態に戻ります。

❷ 希望の録音スピードを選ぶ。

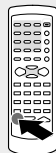
① volume/multicontrolツマミで 希望の録音スピードを選ぶ。
② setキーを押す。

volume/multicontrolツマミを回すと次のように切り換わります。

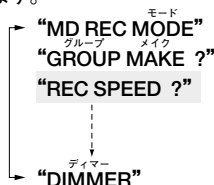
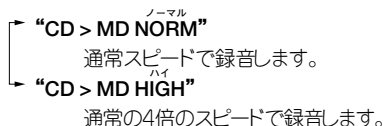
"CD > MD NORM"
通常スピードで録音します。
"CD > MD HIGH"
通常の4倍のスピードで録音します。

❸ 録音可能なミニディスクをセットする。→32

❹ CDトレイにディスクを入れる。→22

❺ CD停止状態にする。→22

❻ 録音モード(STEREO、LP2、LP4またはMONO)を設定する。

33ページ手順4.の操作をします。

❼ O.T.E.キーを押す。

リモコン操作

- 選んだCDの1曲目から録音がはじまり、全曲を録音します。
- CD再生またはMD録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- MDの録音可能時間や記録可能な曲数を越えた場合は"DISC FULL"と表示されて停止します。

❽ 録音終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す。

(本体)

- 録音が終わったら、必ずミニディスクを取り出してください。

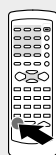
"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

応用編

CDで再生中の一曲だけをワンタッチで録音する（通常速度、4倍速）（一曲O.T.E.）

本体操作

❶ 録音可能なミニディスクをセットする。→32

❷ CDの録音したい曲を再生状態にする。→22

❸ O.T.E.キーを押す。

- CDを再生中に録音したい曲があった場合、曲の途中でもO.T.E.キーを押すとその曲の頭に戻って、再生と録音が始まります。
- 録音モードや録音スピードは前に設定されているモードで録音されます。
  録音モードを変えるときは33ページの手順3.の操作をして変更します。

リモコン

- 録音が終了するとCDは一時停止状態になります。
- 同様にして、気に入った曲を次々と録音することができます。
- MDの録音可能時間や記録可能な曲数を越えた場合は"DISC FULL"と表示されて停止します。

❺ 録音終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す。

- 録音が終わったら、必ずミニディスクを取り出してください。

（本体）
"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

CD-R/RWの場合、ディスクの記録状態や特性上MDへの4倍速録音（CD > MD HIGH）でごくまれに、音飛びや、ノイズが混入して録音されたり、正常に録音ができない場合があります。
この場合は通常速録音（CD > MD NORM）で録音することをおすすめします。

曲順を並べ替えて録音する(PGM[プログラム]モード再生+O.T.E.[ワンタッチエディット])

CDの曲をプログラムして、MDに録音することができます。SK-5MDの場合3枚のCDのなかから曲順を並べ替えて、プログラムしたものを1枚のMDに録音することができます。

本体操作

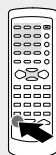
❶ 希望の録音スピードを選ぶ。→42

42ページの手順❶、❷の操作をして、通常速度か、4倍速かを選びます。

❷ 録音可能なミニディスクをセットする。→32

❸ CDトレイにディスクを入れる。→22

❹ CD停止状態にする。→22

❺ 録音する曲をプログラムする。→36

36ページの「曲順を並べ替えて聴く(PGMモード再生)」の手順❶~❺の操作をして、曲のプログラムをします。

❻ O.T.E.キーを押す。

- 録音モードは前に設定されているモードで録音されます。録音モードを変えるときは33ページの手順3.の操作をして変更します。
- プログラムしたCDの録音がはじまります。

リモコン操作

- CD再生またはMD録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- プログラムに従って、再生するCDを本機が自動的に交換している間は、録音も自動的に一時停止になるため不要な(無音声部分の)録音はされません。
- MDの録音可能時間や記録可能な曲数を越えた場合は“DISC FULL”と表示されて停止します。
- リピートモード再生と組み合わせてO.T.E.[ワンタッチエディット]録音することはできません。

❼ 録音終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す。

- 録音が終わったら、必ずミニディスクを取り出してください。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

PGM[プログラム]モード再生を解除する

「プラグラムした曲を取り消す」の「全ての曲を取り消すとき」の手順でPGMモードを解除することができます。→37

録音を途中でやめる

■ **STOP**キーを押すと録音と再生が共に終了します。

SK-5MD/SK-7PRO/J

好きなCDの一曲目だけを録音する(BEST HITSプログラム録音)

セットしたCD(SK-5MDの場合すべてのCD)の一曲目だけを録音します。
SK-5MDでは1枚のCDを録音中に他のトレイのCDを入れ替えることができるため、シングルCDのヒット曲を続けて録音するときに便利です。

リモコンのみ

❶ 希望の録音スピードを選ぶ。→42

❷ CDと、録音用MDをセットする。→22 →32

❸ 入力をCDに切り換えて、停止状態にする。→22

❹ BEST HITSキーを押す。

SK-7PROの場合はそのままBEST HITS録音が始まります。

❺ SK-5MDの場合、O.T.E.キーを押し、BEST HITS録音を開始する。

- 録音モードは前に設定されているモードで録音されます。録音モードを変えるときは33ページの手順3.の操作をして変更します。
- ディスクの一曲目のみの録音が始まります。
- SK-5MDでは選ばれているディスクの一曲目の録音をして、次のディスクの一曲目の録音に移ります。(BEST HITSプログラム録音)
- BEST HITSプログラムに従って、再生するCDを本機が自動的に交換している間は、録音も自動的に一時停止になるため不要な(無音声部分の)録音はされません。
- BEST HITSプログラム再生またはMD録音のどちらかが終了すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- MDの録音可能時間や記録可能な曲数を越えた場合は"DISC FULL"と表示されて停止します。
- リピートモード再生と組み合わせてBEST HITSプログラム録音することはできません。

SK-5MDでは順にディスクを入れ替えていくと、入れ替えた順番で中断することなく録音を続けることができます。

BEST HITSプログラム録音を停止する

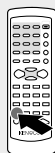
STOPキーを押して録音を停止する。

- SK-7PROの場合STOPキーを押すと BEST HITSモードも解除されます。

BEST HITSプログラム機能を解除する

SK-7PRO

SK-5MD

SK-5MD/SK-7PRO/J

編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行うことができます。再生専用の一般市販ソフトのミニディスクは編集できません。

曲をグループ分けする

多くの曲をいくつかのグループに分けて、グループ毎にいろいろな編集や、リピート再生などをすることができます。→47 〜 →51

グループ1　グループ2　グループ3

MD規格上の機能制限について

いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、確認ください。→75 →76

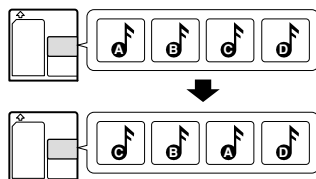
編集をするときは、ミニディスクの誤消去防止つまみを"録音可能"側にしてください。→72

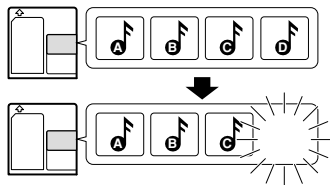
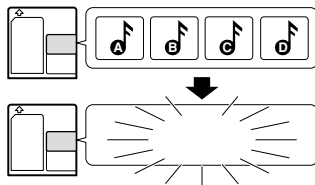
曲の分割と結合

曲を分ける（DIVIDE）→54

曲をつなぐ（COMBINE）→56

曲順の入れ替え

1曲ずつ移動する（MOVE）→52

曲の消去

1曲ずつ消す（ERASE）→58

MD内の曲を全て消す（ALL ERASE）→58

ミニディスクや曲にタイトルをつける（リモコンのみ）→60

タイトルをコピーまたはメモして、他のミニディスクや曲につける（TITLE MEMO）（リモコンのみ）→63

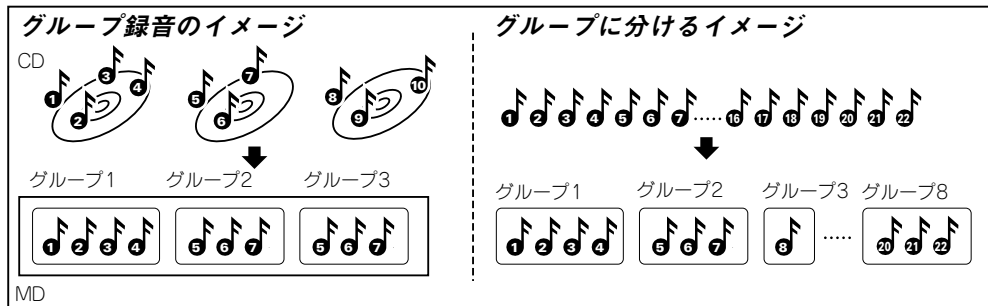
英数字に加えてカタカナなどの入力も可能です。表示部に表示される文字の中から順に選ぶだけのカンタンな操作でタイトルを入力できます。入力したタイトルは、機種間の互換性があるので、他のMDレコーダー（プレーヤー）にそのミニディスクをセットしたときも表示されます。（タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の規制があります）

編集した内容を取り消す（EDIT CANCEL）→64

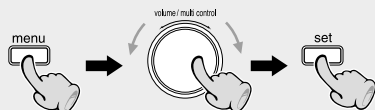
応用編

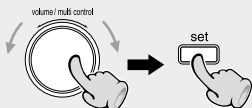
SK-5MD/SK-7PRO/J

グループ分けして録音する（GROUP）

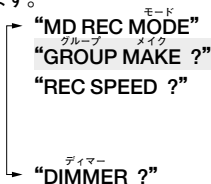
本機は2倍または4倍の長時間録音ができるので、1枚のMDにたくさんの曲を録音することができます。
MD O.T.E.録音（42ページ）をする前に、あらかじめグループ録音の設定をしておくと、アーティストや、アルバムごとにグループに分けて録音することができます。また、そのMDはグループを選んで再生したり、グループ単位で、編集したり、またはリピート再生などをすることができます。
録音済みのMDを後から、グループ分けすることもできます。（→48）

本体操作

❶ 次の手順で"GROUP MAKE ?"を選ぶ。

① menuキーを押す。
② volume/multicontrolツマミで "GROUP MAKE ?"を選ぶ。
③ SETキーを押す。

❷ "GROUP MAKE ON"を選ぶ。

① volume/multicontrolツマミで "GROUP MAKE ON"選ぶ。
② SETキーを押す。

❷「CDの全曲をワンタッチで録音する（通常速度、4倍速）（全曲O.T.E.）」の操作をして、録音を開始する。→42

リモコン操作

volume/multicontrolツマミを回すと次のように切り換わります。

20秒以内に次の操作をしない場合は元の状態に戻ります。

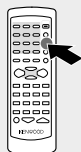
- グループ録音の設定は、次に変更するまで、変わりません。

メモ

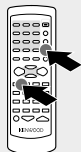
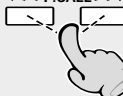
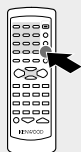
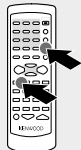
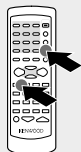
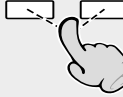
- O.T.E.録音を開始した曲から録音を終了した曲までが1つのグループになります。
- 録音したいMDに、すでに99のグループが登録されている場合は、グループ録音の設定がONになっていてもグループ録音はされません。
- グループ機能に対応した他の機器で録音したMDを、本機で使用すると正しく動作しないことがあります。
- グループ録音したMDを他のグループ機能に対応していない機器で再生すると、録音した曲の順に再生します。
- グループ録音したMDを他の機器で編集すると、正しく動作しないことがあります。

録音済みのMDをグループに分ける

連続した曲でグループを作り、登録します。
最大99グループまで作ることができます。
また、1曲でもグループにすることができます。

MDを選択し、停止状態にします。

リモコンのみ

❶ TRACK EDITキーを押す。

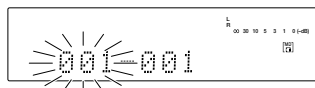
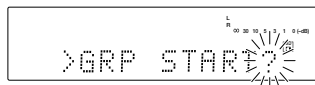
❷ |◀◀P.CALL▶▶|キーを繰り返し押して "EDIT GROUP"を選び、SETキーを押す。

❸ "GRP START ?"が点滅したらSETキーを押す。

❹ |◀◀P.CALL▶▶|キーを押してグループにする最初の曲を選び、SETキーを押す。

❺ |◀◀P.CALL▶▶|キーを押してグループの最後の曲を選び、SETキーを押す。

❻ ENTERキーを押してグループを確定する。

❼ 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す。

- 編集の途中で作業を中止するときは**TRACK EDIT**キーを押すと、作業が中止されて、元の状態に戻ります。
- 編集できない項目を選ぶと表示の先頭に⁙印が付きます。

- MD編集モードになります。

約20秒間次の操作をしないと元の状態に戻ります。操作を続けるときはもう一度TRACK EDITキーを押してください。

>GRP START ?

- すべての曲がすでにグループに登録されているとき、またはグループ数が99を越えると新しいグループは作れません。また、99を越えていなくても、そのMDに入力した文字情報が多いときは、新しいグループを作れないことがあります。

“EDIT NOW”表示中にMDを取り出したり、電源を切ると編集が中断されることがあります。

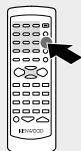
- "MD WRITING"表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

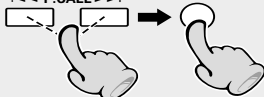
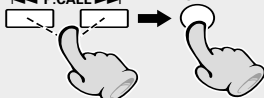
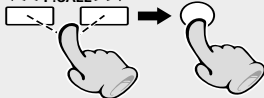
応用編

グループ情報を消す

グループ登録した情報を消すことができます。
選んだグループまたはMDすべてのグループの情報、グループタイトルを消すことができます。

MDを選択し、停止状態にします。

リモコンのみ

❶ TRACK EDITキーを押す。

❷ |◀◀P.CALL▶▶|キーを繰り返し押して "EDIT GROUP"を選び、SETキーを押す。

❸ |◀◀P.CALL▶▶|キーを繰り返し押して "GRP CANCEL"を選び、SETキーを押す

❹ |◀◀P.CALL▶▶|キーを押して消したいグループを選び、SETキーを押す

❻ ENTERキーを押す

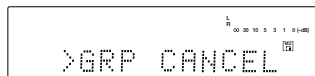
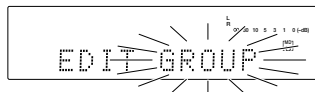
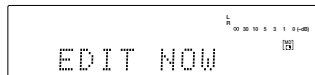
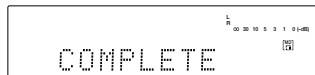
❼ 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

（本体）

- 編集の途中で作業を中止するときはTRACK EDITキーを押すと、作業が中止されて、元の状態に戻ります。
- 編集できない項目を選ぶと表示の先頭に⁙印が付きます。

- MD編集モードになります。

約20秒間次の操作をしないと元の状態に戻ります。操作を続けるときはもう一度TRACK EDITキーを押してください。

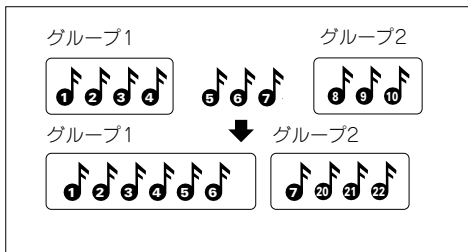
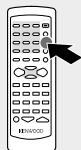
>GRP CANCEL

“ALL GROUP”　：MDすべてのグループを消します。
“曲番号__曲番号”...：選んだグループの情報を消します。

EDIT NOW

“EDIT NOW”表示中にMDを取り出したり、電源を切ると編集が中断されることがあります。

- "MD WRITING"表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

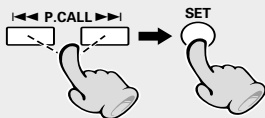
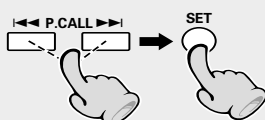
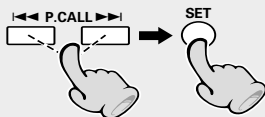
"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

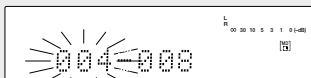
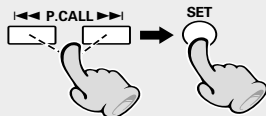
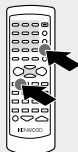
応用編

グループの範囲を変える

すでに登録したグループの範囲を変えることができます。

MDを選択し、停止状態にします。

リモコンのみ

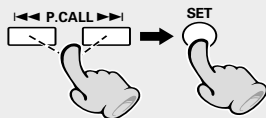
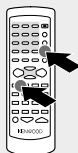
❶ TRACK EDIT（トラック エディット）キーを押す。

❷ |◀◀P.CALL（プリセットコール）▶▶|キーを繰り返し押して "EDIT GROUP"を選び、SET（セット）キーを押す。

❸ |◀◀P.CALL▶▶|キーを繰り返し押して "GRP EDIT（グループ エディット） ?"を選び、SETキーを押す。

❹ |◀◀P.CALL▶▶|キーを押して変更するグループを選び、SETキーを押す。

- 編集の途中で作業を中止するときはTRACK EDITキーを押すと、作業が中止されて、元の状態に戻ります。
- 編集できない項目を選ぶと表示の先頭に⁙印が付きます。

❺ |◀◀P.CALL▶▶|キーを繰り返し押して グループの最初の曲番号を選び、SET（セット）キーを押す。

←文字がスクロールして、グループの曲番が表示されます。

曲番号を変更しないときは、そのままSETキーを押します。

他のグループに登録されている曲は選べません。

❻ |◀◀P.CALL▶▶|キーを繰り返し押してグループの最後の曲番号を選び、SETキーを押す。

曲番号を変更しないときは、そのままSETキーを押します。

他のグループに登録されている曲は選べません。

❼ ENTER（エンター）キーを押してグループを確定する。

“EDIT NOW”表示中にMDを取り出したり、電源を切ると編集が中断されることがあります。

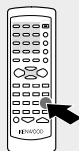
❽ 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す。

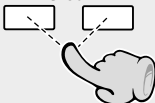
- "MD WRITING（ライティング）"表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

グループを選んで再生する

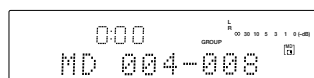
MDのグループを選んで、グループの曲だけを聴くことができます。

MDを選択し、停止状態にします。

リモコン操作

❶ P.MODE（プログラムモード）キーを押し"GROUP（グループ）"インジケーターを点灯させる

❷ GROUP PREV.（プリビアス）, NEXT（ネクスト）キーを押して 聴きたいグループを選ぶ。

❸ MD ►/❚❚キーを押して再生をはじめる

グループ設定されたディスクでは、**P.MODE** キーを押すたびに次のように切り換わります。

→ ① グループモード
② プログラムモード
③ 解除

←文字がスクロールします。

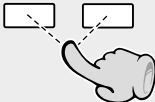
グループ録音したMDを、グループ機能に対応していない機器で再生すると、ディスクタイトルに数字や記号が表示され、正しく表示されません。このような場合に、グループ機能に対応していない機器でディスクタイトルの編集をすると、グループ情報が消去されますのでご注意ください。

- グループ機能に対応した他の機器で録音したMDを、本機で使用すると正しく動作しないことがあります。

再生中に別のグループを再生するとき

❷ GROUP PREV.（プリビアス）, NEXT（ネクスト）キーを押して 聴きたいグループを選ぶ。

グループを選んで、そのグループのリピート再生や、ランダム再生をすることができます。

リピートモード → 38
ランダムモード → 39

グループ再生をやめるとき

（本体）

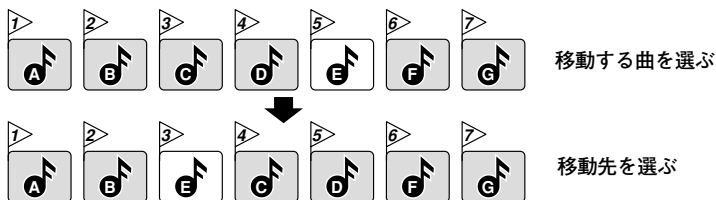
（リモコン）

通常の再生に戻すには

停止中にP.MODEキーを 繰り返し押して "GROUP" を消灯させる。

応用編

1曲ずつ移動する(MOVE)

曲を、お好みの位置へ移動(挿入)することができます。入れ替えが終ると、全てのトラック番号(曲番)が通し番号に自動的に調整されます。MOVEを繰り返し行うことで、お好みの曲順に並べ替えることができます。
グループ分けされている曲も移動できます。その場合、移動した先の直前の曲と同じグループに登録されます。移動した先の前の曲がグループに登録されていない場合は、移動した曲もグループに属しません。

“GROUP”、“PGM”表示は消灯させてから操作してください。

- 編集の途中で作業を中止するときはTRACK EDITキーを押すと、作業が中止されて、元の状態に戻ります。
- 編集できない項目を選ぶと表示の先頭に⁙印が付きます。

リモコンのみ

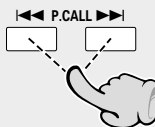
❶ TRACK EDITキーを押す。

- MD編集モードになります。

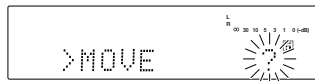
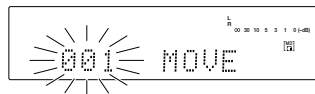
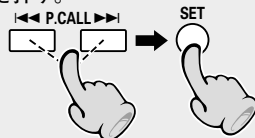
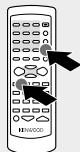
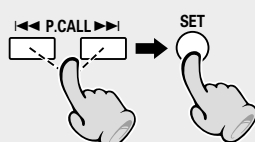
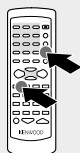
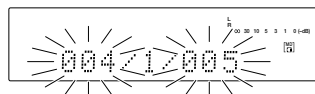
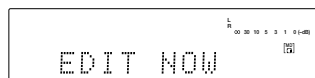
約20秒間次の操作をしないと元の状態に戻ります。操作を続けるときはもう一度TRACK EDITキーを押してください。

❷ “EDIT TRACK”と表示されていることを確認して、SETキーを押す。

- 別の表示がされている時は⏮P.CALL⏭キーを押して切り換えてから、SETキーを押します。

❸ ⏮P.CALL⏭キーを繰り返し押して "MOVE ?"を選ぶ。

❹ SETキーを押して"MOVE"を確定する

次のページにつづく

応用編

❺ |◀◀P.CALL▶▶|キーを押して移動する曲を選び、SETキーを押す。

❻ |◀◀P.CALL▶▶|キーを押して移動先を選びSETキーを押す。

- 移動先は、選ばれた曲の直前、直後一組のトラック番号で表示され、キーを押すたびに前後します。

❼ ENTERキーを押して移動先を確定する

EDIT NOW

“EDIT NOW”表示中にMDを取り出したり、電源を切ると編集が中断されることがあります。

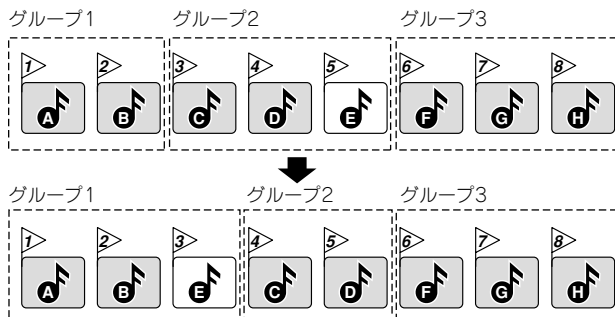
COMPLETE

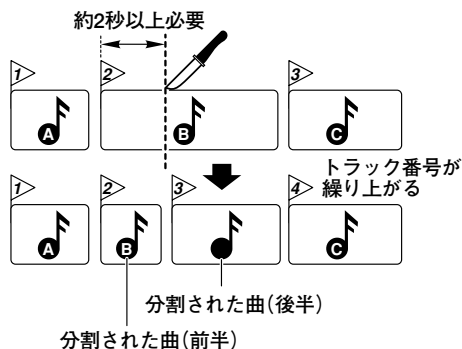
❽ 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

- "MD WRITING"表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 →64

グループされた曲を移動するイメージ

曲を分ける(DIVIDE)

曲の途中に曲番号(トラック番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておくと、再生のとき聴きたいところにスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。プレビュー機能を使って、分割したいところを繰り返し聴きながら微調整ができます。
グループに登録された曲も分割することができます。

"GROUP"、"PGM"表示は消灯させてから操作してください。

リモコンのみ

❶ 再生中に、分割したいところでTRACK EDITキーを押す。

● MD編集モードで一時停止になります。

約20秒間次の操作をしないと元の状態に戻ります。操作を続けるときはもう一度TRACK EDITキーを押してください。

❷ "DIVIDE ?"と表示されていることを確認して、SETキーを押す。

>DIVIDE ?

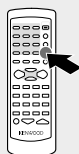
● 別の表示がされている時は⏮P.CALL⏭キーを押して切り換えてから、SETキーを押します。

- 編集の途中で作業を中止するときはTRACK EDITキーを押すと、作業が中止されて、元の状態に戻ります。
- 編集できない項目を選ぶと表示の先頭に⁙印が付きます。

- 曲を分割するときは、曲のはじめから約2秒以上後に分割ポイントを設定してください。約2秒より短い曲に分割することはできません。(LP2/MONOモードの場合:4秒、LP4モードの場合:8秒)
- 分割した曲の最後と新しくできた曲の最初(分割ポイントの前後)には無音声部分ができません。

次のページにつづく

応用編

❸ SETキーを押してプレビュー再生をはじめる。

プレビュー再生で分割ポイントの微調整をしないときは、手順❷の後にSETキーを押して分割ポイントを確定します。(手順❺)

- 一時停止したところから後に続く約3秒間を繰り返し再生します。

❹ ⏮P.CALL⏭(プリセットコール)キーを押して分割ポイントを選ぶ

- キーを押すたびに分割ポイントが1ステップ(6/100秒)づつ前後します。(-31〜+31ステップの範囲で微調整ができます。)

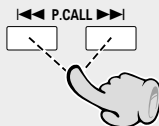
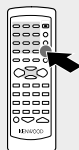
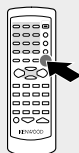
❺ SETキーを押して分割ポイントを確定する

❻ ENTER(エンター)を押して分割を確定する

EDIT NOW

“EDIT NOW”表示中にMDを取り出したり、電源を切ると編集が中断されることがあります。

COMPLETE

- 分割して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。
- "EDIT NOW(エディット ナウ)"表示中に▲キーや、I/⏻キーを押すと、並べ替えが中断されることがあります。

手順❶〜❻を繰り返し、最大254曲まで曲を分割することができます。

❼ 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

(本体)

- "MD WRITING(ライティング)"表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

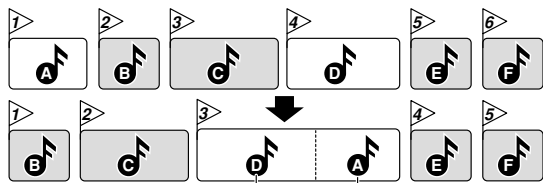
ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。→64

曲をつなぐ(COMBINE)

2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。曲をつなぎ終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。
隣り合った曲であれば、違うグループに登録された曲でもつなぐことができます。その場合、つないだ曲は前のグループに登録されます。

曲をつなぐイメージ

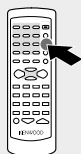
4曲目と1曲目をつなぐ場合

トラック番号が調整される

前半部のトラック番号とタイトルが残る

後半部のトラック番号とタイトルは消える

"GROUP"、"PGM"表示は消灯させてから操作してください。

リモコンのみ

● 編集の途中で作業を中止するときはTRACK EDITキーを押すと、作業が中止されて、元の状態に戻ります。
● 編集できない項目を選ぶと表示の先頭に:: 印が付きます。

❶ つなげたとき前になる曲を再生中にTRACK EDITキーを押す。

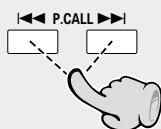
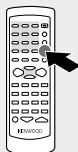
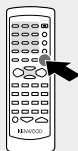
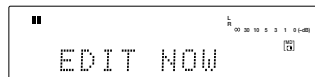
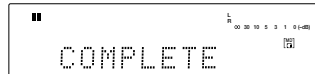
● MD編集モードで一時停止になります。

約20秒間次の操作をしないと元の状態に戻ります。操作を続けるときはもう一度TRACK EDITキーを押してください。

❷ |◄◄P.CALL►►|キーを繰り返し押して "COMBINE ?" を選ぶ。

❸ SETキーを押す。

次のページにつづく

❹ ⏮◀P.CALL▶⏭キーを押して、つなげたときに後ろになる曲（トラック番号）を選ぶ

❺ SETキーを押して曲を確定する

❻ ENTER（エンター）キーを押して結合を確定する

● 結合して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。

“EDIT NOW”表示中にMDを取り出したり、電源を切ると編集が中断されることがあります。

❼ 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

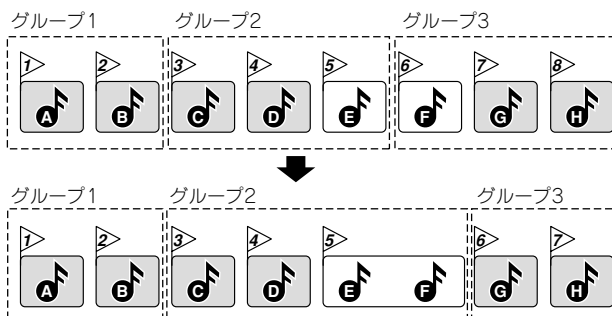
（本体）

● "MD WRITING（ライティング）"表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

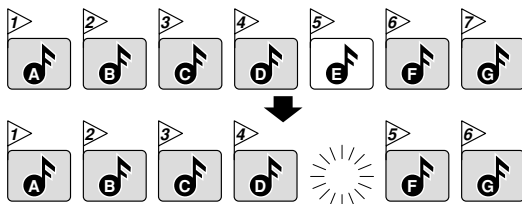
"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 → 64

応用編

グループされた曲をつなぐイメージ

MD内の曲を全て消す（ALL ERASE）/1曲ずつ消す（ERASE）

停止中に全曲消去したり、または選んだ1曲のみを消去することができます。
1曲消すと、その曲以降のトラック番号が1つずつ繰り上がります。
グループに登録した曲も消すことができます。

1曲消すイメージ

1 A　2 B　3 C　4 D　5 E　6 F　7 G

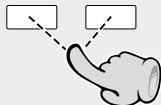
1 A　2 B　3 C　4 D　5 F　6 G

"GROUP"、"PGM"表示は消灯させてから操作してください。

リモコンのみ

❶ TRACK EDITキーを押す。

❷ SETキーを押す。

❸ |◀◀P.CALL▶▶|キーを繰り返し押して "ERASE ?"を選ぶ。

❹ SETキーを押す。

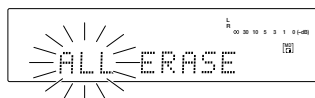
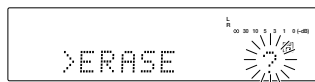
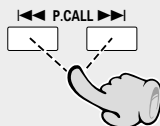
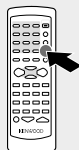
- 編集の途中で作業を中止するときはTRACK EDITキーを押すと、作業が中止されて、元の状態に戻ります。
- 編集できない項目を選ぶと表示の先頭に⁙印が付きます。

- MD編集モードになります。

- 別の表示がされている時は|◀◀P.CALL▶▶|キーを押して切り換えてから、SETキーを押します。

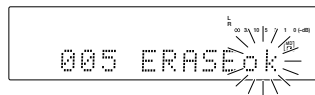
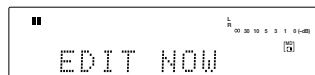
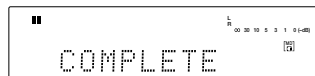
約20秒間次の操作をしないと元の状態に戻ります。操作を続けるときはもう一度TRACK EDITキーを押してください。

次のページにつづく

応用編

❺ ⏮P.CALL⏭キーを押して、消したい曲番（トラック番号）を選ぶ

❻ SETキーを押して曲を確定する

❼ ENTER（エンター）キーを押して消去を確定する

❽ 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

（本体）

- MDのすべての曲を消すときは“ALL ERASE”を選びます。
- 再生中に操作したときは、再生していた曲の消去のみが選べます。

- 消去した次の曲のはじめで一時停止になります。

“EDIT NOW”表示中にMDを取り出したり、電源を切ると編集が中断されることがあります。

- "MD WRITING（ライティング）"表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 →64

ミニディスクや曲にタイトルをつける

ミニディスクや曲にタイトル（名まえ）をつけることができます。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。長時間録音（2倍または4倍）の設定でSTAMP（スタンプ）機能ONを選んだ場合は、曲のタイトルの前に自動的に「LP:」が表示されます。
また、グループにタイトルを付けることもできます。（グループタイトル）
そのほかに繰り返し入力する文字を保存してタイトル入力に使えるタイトルメモ機能があります。

タイトルを付ける準備をする

ディスクタイトルを付ける：

通常の停止状態でつけることができます。**"GROUP（グループ）"**、**"PGM（プログラム）"**が点灯しているときは、P.MODEキーを押して消灯させてください。

グループタイトルをつける：

グループ再生で停止状態の時に付けることができます。
① **P.MODE（プログラムモード）**キーを押して、**"GROUP"**表示を点灯させる。
② **PREV.（プリビアス）**、**NEXT（ネクスト）**キーを押してグループタイトルまたはトラックタイトル（曲名）を付けるグループを選択する。

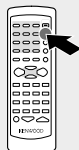
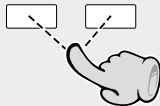
トラックタイトル（曲名）を付ける：

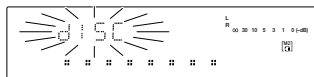
通常の停止状態にするとすべての曲にタイトルを付けることができます。
グループ再生で停止状態の時はグループ内の曲にタイトルを付けることができます。

タイトルメモを入力する：

上のどのモードでもタイトルメモが選べます。

リモコンのみ

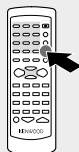
❶ **TITLE（タイトル） INPUT（インプット）キーを押す。**

❷ **|◀◀P.CALL（プリセットコール）▶▶|キーを繰り返し押して、編集したいタイトルを選ぶ。**

MD編集を途中で終了したいときは、リモコンのTITLE INPUTキーを押します。

- ミニディスクのデータ読み出し、書き込み表示の点滅中は、タイトル入力できません。

タイトルをつけていないときは、"....."と表示されます。

- キーを押すたびに編集するタイトルが切り換わります。

"DISC" ：（ディスクタイトル）
"001" ：（トラックタイトル）
"002" ：（トラックタイトル）
⋮
"[1]" ：（タイトルメモ1）
"[2]" ：（タイトルメモ2）
"[3]" ：（タイトルメモ3）

グループを選んだときは、グループ番号が表示されます。

❸ SETキーを押してタイトルを付ける曲番(またはディスク、タイトルメモ番号)を確定する

❹ タイトルを入力する。

① DISPLAY/CHARAC.キーを繰り返し押して、文字グループを選ぶ。

文字グループ

文字グループは以下の通りです。

"Aa" グループ
A〜z、記号とタイトルメモ("[1]"、"[2]"、"[3]")

"12" グループ
0〜9と記号

"ｱｧ" グループ
アイウエオ…と記号

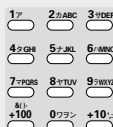
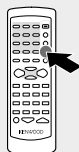
② 文字入力キーを押して、文字を選ぶ。

同じキーを繰り返し押すと文字が変わります。
(例:2カABC を押す)

押すたびにA→B→C→a→b→c と変わります。

- ◀◀、▶▶キーで、入力場所(カーソル)を左右に移動できます。
- 間違えたときは、CLEAR/DELETEキーを押して消去します。
- スペースを入れるときは、TIME/SPACEキーを押してください。

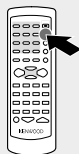
③ SETキーを押して、文字を確定(入力)する。

- 他の文字入力キーや▶▶キー、DISPLAY/CHARACキーなどを押したときも確定されます。

④ 手順①〜③を繰り返す。

❺ ENTERキーを押して入力したタイトルを確定する。

- タイトルをスクロール表示した後に、次のタイトルが選ばれた状態で手順❷の表示に戻ります。
- タイトルを確定する前に、電源をオフ(スタンバイ)にしたり、TITLE INPUTキーを押して設定を取り消したりすると入力中の内容は消去さます。

応用編

❻ **TITLE INPUTキーを押して、編集を終了する**

手順 ❻に進む前に手順 ❷〜❺を繰り返せば、そのミニディスクのすべてのタイトル（ミニディスク名と曲名）をつけることができます。

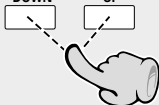
❼ **編集終了後、⏏キーを押してミニディスクを取り出す**

（本体）

● "MD WRITING"表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

文字を消去、変更する

❶ **◀◀または▶▶ キーを押して、カーソルを目的の（削除または変更する）文字に合わせる**

● 文字を削除（手順❷）しないで文字の挿入だけをしたいときは、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせます。

❷ **CLEAR/DELETEキーを押して、文字を削除する**

● すべての文字を消去する場合はCLEAR/DELETEキーを繰り返し押して、すべての文字を消去します。

入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。（アルファベット、数字、記号の場合）
カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
スペース（1文字ぶんの空白）も、文字と同じ量のデータを必要とします。
タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字を削除（**CLEAR/DELETE**キーを押す）してください。

キー機能について

◀◀または▶▶キー：
カーソルの位置を移動します。

CLEAR/DELETEキー：
カーソルを合わせた文字が消去され、それ以降の文字が1文字づつ前に詰められます。続けて押す（または押したままにして繰り返し消去していく）と、簡単にタイトルを消去できます。

TIME/SPACEキー：
スペースを挿入します。

タイトルメモ(TITLE MEMO)を使う

繰り返し入力する文字をタイトルメモ1、2または3([1]、[2]または[3])に保存しておきタイトル入力をするときに呼び出して、簡単に入力することができます。
例えば曲名に「SONG:A」、「SONG:B」、「SONG:C」と入力する場合:
タイトルメモ1に「SONG:」を保存しておき、曲名を入力するとき、タイトルメモ1([1]の表示)とAを入力すると「SONG:A」が入力されます。

タイトルメモを入力する

リモコンのみ

❶ タイトルを編集する手順で、タイトルメモ[1]、[2]または[3]を選ぶ。

(60ページの手順❷~❸)

❷ 文字を入力する。

(61ページの手順❹~❺)

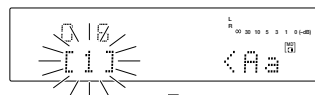
"[1]"　:(タイトルメモ1)
"[2]"　:(タイトルメモ2)
"[3]"　:(タイトルメモ3)

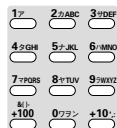
タイトルメモを使用する

リモコンのみ

❶ タイトル入力操作で、文字グループ"Aa"を選ぶ。

❷ 数字キー「1ア」を押し、[1]、[2]または[3]を選ぶ。

❸ SETキーを押す。

タイトル編集文字一覧表

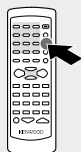
次のようなカタカナ文字やアルファベット文字、各種記号などを選ぶことができます。

キー ＼ グループ	"Aa"	"12"	"ｱｧ"
1ア	スペース[1] [2] [3]	1	アイウエオァィゥェォ
2カABC	ABCabc または abcABC	2	カキクケコ
3サDEF	DEFdef または defDEF	3	サシスセソ
4タGHI	GHIghi または ghiGHI	4	タチツテトッ
5ナJKL	JKLjkl または jklJKL	5	ナニヌネノ
6ハMNO	MNOmno または mnoMNO	6	ハヒフヘホ
7マPQRS	PQRSpqrs または pqrsPQRS	7	マミムメモ
8ヤTUV	TUVtuv または tuvTUV	8	ヤユヨャュョ
9ラWXYZ	WXYZwxyz または wxyzWXYZ	9	ラリルレロ
0ワヲン		0	ワヲン ゛ ゜(濁音、半濁音)
+10' , :	' , : ? ! ; . " _ ` $ スペース		
+100& ( ) ー	& ( ) ー / + * = < > # % @		

● "゛" "゜"はカーソル直前の文字によって入力できないことがあります。

編集した内容を取り消す（EDIT CANCEL）

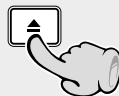
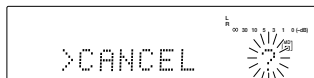
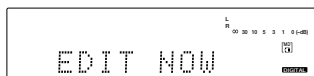
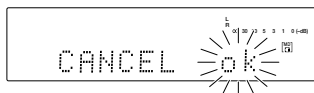
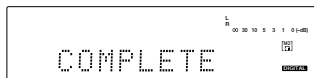
停止中に次の操作を行うと、ディスクを入れてから現在までに行った編集を取り消すことができます。万一、編集後にミニディスクを取り出したり、他の録音をしたりすると、取り消すことができなくなります。

編集後、ミニディスクを取り出す前に行ってください。

リモコンのみ

❶ TRACK EDITキーを押す。

● MD編集モードになります。

約20秒間次の操作をしないと元の状態に戻ります。操作を続けるときはもう一度TRACK EDITキーを押してください。

❷ |◀◀P.CALL▶▶|キーを繰り返し押して "EDIT CANCEL ?"を選ぶ。

● 表示の先頭に⁙印がついた場合は、それまで行われた編集を取り消すことができません。

❸ SETキーを押す。

❹ ENTERキーを押して編集を取り消す

“EDIT NOW”表示中にMDを取り出したり、電源を切ると編集が中断されることがあります。

❺ 編集終了後、▲キーを押してミニディスクを取り出す

（本体）

● "MD WRITING"表示中に編集情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

"MD WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

応用編

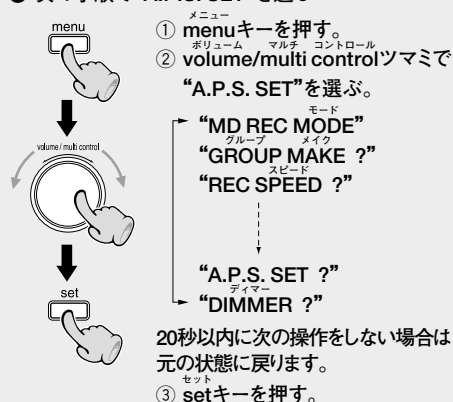
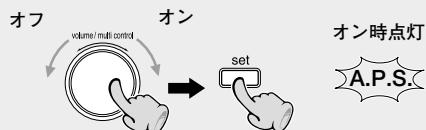
オートパワーセーブ(A.P.S.)を設定する

オートパワーセーブ機能をオンにすると、CDやMDの再生が終了して、約30分間なにも操作しないと自動的に電源がオフ(スタンバイ)になります。

❶ 次の手順で“A.P.S. SET”を選ぶ

① menuキーを押す。
② volume/multi controlツマミで“A.P.S. SET”を選ぶ。

“MD REC MODE”
“GROUP MAKE ?”
“REC SPEED ?”
“A.P.S. SET ?”
“DIMMER ?”

20秒以内に次の操作をしない場合は元の状態に戻ります。
③ setキーを押す。

❷ volume/multi controlツマミを回してオンまたはオフを選択し、setキーを押す。

オートパワーセーブは次の条件で約30分間なにも操作をしなかったときに働きます。

入力がCD、MDのとき
➡ 停止中

入力がチューナー、テープまたは外部入力のとき
➡ volume/multi controlレベルが最小値になっているかまたは消音になっているとき

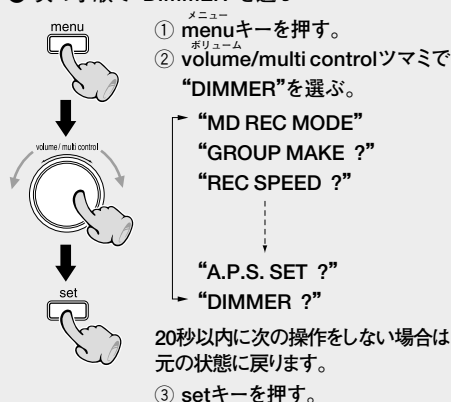
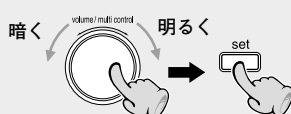
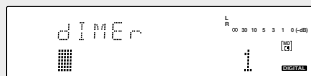
表示部の明るさを調節する(DIMMER)

夜間など表示部が明るすぎると感じたり、または暗く感じたときは明るさを調節することができます。

❶ 次の手順で“DIMMER”を選ぶ

① menuキーを押す。
② volume/multi controlツマミで“DIMMER”を選ぶ。

“MD REC MODE”
“GROUP MAKE ?”
“REC SPEED ?”
“A.P.S. SET ?”
“DIMMER ?”

20秒以内に次の操作をしない場合は元の状態に戻ります。
③ setキーを押す。

❷ volume/multicontrolツマミを回して希望の明るさを選択し、setキーを押す。

暗くしたとき

● 電源がオフのときは調節できません。

時刻合わせ

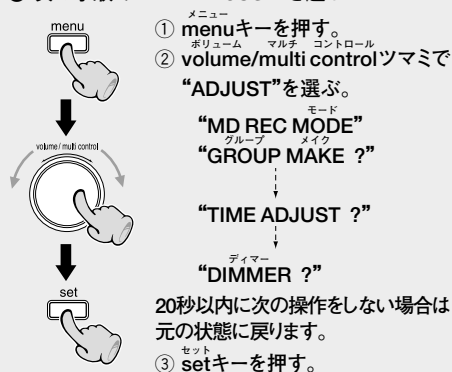
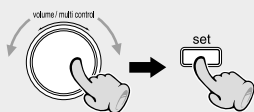
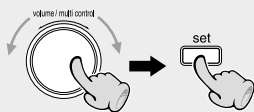
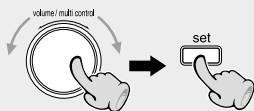
時計として使うだけでなく、タイマーを使うためにも必要となるので、あらかじめ時刻合わせを済ませてください。

● 設定の途中で間違えたときは、手順 ❶ からやり直してください。

❶ 次の手順で"TIME ADJUST"を選ぶ

① menuキーを押す。
② volume/multi controlツマミで"ADJUST"を選ぶ。

"MD REC MODE"
"GROUP MAKE ?"
"TIME ADJUST ?"
"DIMMER ?"

20秒以内に次の操作をしない場合は元の状態に戻ります。
③ setキーを押す。

❷ volume/multi controlツマミを回して"12H ?"（12時間表示）または"24H ?"（24時間表示）を選び、setキーを押す。

❸ volume/multi controlツマミを回して"時"の単位を調節する。
"時"の単位が合ったらsetキーを押す。

❹ volume/multi controlツマミを回して"分"の単位を調節する。
"分"の単位が合ったらsetキーを押し時刻合わせを終了する。

● 手順❹で、時報と同時にsetキーを押すと正確な時刻設定ができます。

応用編

タイマーを使う

CD、MDの再生、ラジオ受信、あるいはそれらの録音を、指定した時間帯に自動的に行うことができます。
本機は次のようなタイマーを備えています。

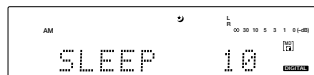
SLEEP(スリープ)タイマー .... おやすみ前に設定すると自動的に電源がオフ(スタンバイ)になります。
PROG.(プログラム)タイマー .... 設定を保存して毎日働く2つのモードがあります。

あらかじめ時刻合わせを済ませてから、タイマー設定を行ってください。→66

音楽を聴きながら眠る (SLEEP(スリープ) タイマー) (リモコンのみ)

何分後に電源をオフ(スタンバイ)にするか設定します。

❶ CD、MD再生またはラジオ受信中などに、SLEEPキーを押す

AM SLEEP 10 DIGITAL

1回押すと10分のスリープタイマーが設定されます。
押すごとに残り時間表示が10分単位で切り換わります。
最長90分まで設定できます。

10→20→30→40→・・・・→80→90→解除

❷ 設定した時間が経つと自動的に電源がオフ(スタンバイ)になります。

SLEEP(スリープ) タイマーを解除するには

電源をオフ(スタンバイ)にするか、またはSLEEPキーを繰り返し押して残り時間表示を消灯させます。

本機は、スリープタイマーの動作中に表示部の明るさが自動的に暗くなるように設定されています。(オートディマー機能)

応用編

● タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、standby/timer(スタンバイ/タイマー)インジケーターが点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。

タイマーを設定する（PROG.タイマー）

PROG.1、PROG.2には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、オン、オフを切り換えることができます。

タイマー再生、受信 .... 設定した時間帯に選んだソースを再生、受信します。
AIタイマー再生、受信 .... 設定した時間帯にタイマー再生、受信をします。オン時刻になると徐々に音量が大きくなり、一定の音量まで上がります。
タイマー録音 .... 設定した時間帯にラジオ放送または外部入力ソースを録音します。

- タイマー予約は、PROG.1とPROG.2の2つを、同時に予約できます。
- PROG.1とPROG.2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

- **あらかじめ時刻合わせを済ませてから、タイマー設定を行ってください。**→66

1. 聴きたい、または録音したいソースの準備をする

ラジオ放送を聴く	CDを聴く	外部入力ソースを聴く	MDを聴く	録音する
放送局をプリセットしておく →27 →28	ディスクを入れる（プログラム再生はできません）→22	AUX/TAPE端子またはデジタル入力OPTICAL端子に接続した機器のタイマー設定をする	ミニディスクを入れる→24	MDの録音準備をする→32

本体操作

2. menuキーを押す

3. volume/multi controlつまみを回して、"TIMER SET ?"を選ぶ →setキーを押して確定する

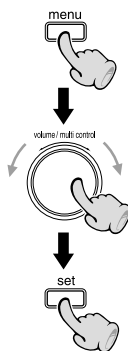
4. volume/multi controlつまみを回して、"PROG.1 SET（または2）"を選ぶ →setキーを押して確定する

PROG.1 SET ?

5. volume/multi controlつまみを回して、"EVERYDAY "（毎日設定が有効）または"ONE TIME "（一回だけ設定が有効）を選ぶ →setキーを押して確定する

6. オン時刻を設定する

❶ volume/multi controlつまみを回して"時"を合わせ、setキーを押して"時"を確定する
- "分"表示が点滅します。

❷ volume/multi controlつまみを回して、"分"を合わせ、setキーを押して"分"を確定する

7. オフ時刻を設定する

手順6.と同様にして、オフ時刻を設定します。

8. volume/multi controlつまみを回して、"PLAY "(タイマー再生、受信)、"REC "(タイマー録音)または"AI PLAY"(徐々に音が大きくなるタイマー再生)を選ぶ →setキーを押して確定する

- 間違えたときは、menuキーを押して、手順**2** からやり直します。
- 設定中は、設定中のタイマー番号が点滅します。

9. volume/multi controlつまみを回してタイマーでオンになったときの音量を設定する。 →setキーを押して確定する

10. 希望の入力ソースを選択する

タイマー再生、受信、AIタイマー再生、受信をするとき

❶ volume/multi controlつまみを回して聴きたいソースを選ぶ。

TUNER .... ラジオ放送
CD .... CD
MD .... MD
AUX .... 外部入力(アナログ)
TAPE .... テープ
DIGITAL IN ... デジタル入力ソース

❸ setキーを押してソースを確定する。

❹ TUNERを選んだときはvolume/multi controlつまみを回してプリセット番号を選ぶ。

❺ setキーを押してソースを確定する。

現在時刻の設定をしていない場合は“TIME ADJUST”が表示され、現在時刻の設定モードになります。(→66)

タイマーのセットが完了して、“COMPLETE” と表示されます。

ラジオ放送、外部入力ソースのタイマー録音をするとき

❶ volume/multi controlつまみを回して、録音したいソースを選ぶ。

TUNER .... ラジオ放送
AUX .... 外部入力(アナログ)
TAPE .... テープ
DIGITAL IN .... デジタル入力ソース

❸ setキーを押してソースを確定する

❹ TUNER"を選んだときはvolume/multi controlつまみを回して、プリセット番号を選び、setキーを押して確定する

❺ volume/multi controlつまみを回して、録音モードを選ぶ

“STEREO”
“LP2”
“LP4”
“MONO”

❻ setキーを押してソースを確定する
タイマーのセットが完了して、“COMPLETE” と表示されます。

応用編

次のページにつづく

10. ⏻キーを押して、電源をオフ(スタンバイ)にする

- standby/timer（スタンバイ/タイマー）インジケーターが緑色に点灯します。
- タイマー機能を使って再生しているときは、SLEEP（スリープ）タイマーは使用できません。
- 時刻合わせが済んでいないときは、タイマー機能は使用できません。
- オン時刻とオフ時刻に同じ時間を設定すると、タイマー機能は働きません。

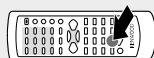
タイマー設定が済んだら、電源がオフ(スタンバイ)になっていることを必ず確認してください。

再び同じ内容のPROG.（プログラム）タイマーをセットする

リモコンのTIMER（タイマー）キーを押して"Ⓘ ❶"マーク、"Ⓘ ❷"マーク、または"Ⓘ ❶❷"マークを点灯させる

- PROG.の内容は、一番最後に設定したものが実行されます。
- CD、MDの準備をしておきます。

タイマーを働かせたくないときは

電源がオンのときに、リモコンのTIMERキーを繰り返し押して"Ⓘ"マークを消灯させます。

PROG.の内容は再設定をしない限り保存されます。

- タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、**standby/timer**インジケーターが緑色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。
- プログラムタイマー録音終了後、**standby/timer**インジケーターが緑色に点滅している場合は、録音ができていないことがあります。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。

メンテナンス

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させせることがあります。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。
このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容	時計表示 N.B.(ナチュラルバス)
電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容	電源の状態(オンまたはスタンバイ)、A.P.S.、電源をオフにする直前のソース選択、AUXレベル、ボリュームレベル、バランスの設定、受信バンド、周波数、プリセット放送局、PROG.(プログラム)タイマーの設定内容、TONEの設定、REC LEVEL(録音レベル)の設定、REC MODE

MD部

電源オフ(スタンバイ)あるいは、電源コンセントからプラグを抜いた状態でのメモリーの記憶時間は、約3日間です。長時間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報(ミニディスク取り出し時に記録される)がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。
録音、編集後には、録音、編集の情報を記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

1. **▲CD1～3キー、▲キーを押して、CD、MDを全て取り出します。**
2. **ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。**

   CD▶/⏸キーを押す。

   CD NO DISC

   MD▶/⏸キーを押す。

   MD NO DISC

3. **数秒間待って、電源をオフ(スタンバイ)にします。**

MD-Clipデータについて

MD-Clipデータ(静止画等)を書き込んだディスクは本機で録音、編集を行わないでください。
MD-Clipデータ内容が失われることがあります。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ディスクの取り扱いかた

本機で使用できるCDディスクについて

CD（12cm、8cm）、CD-R、CD-RW、CD-G/CD-EG（CDグラフィックス）、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものなどIEC規格に合格したものをご使用ください。

CD-R/CD-RWディスクについて

レーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

ディスク取り扱い上のご注意

取り扱い

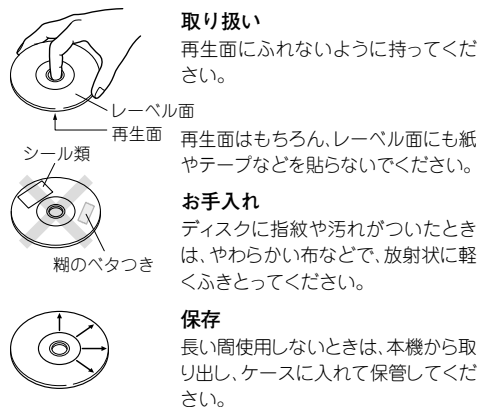
再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

クランピングエリア

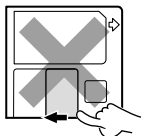
図のようにクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。

シール類を剥がした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

MDの取り扱いかた

MDはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

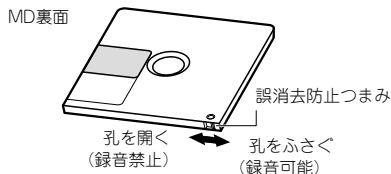
ほこり対策について

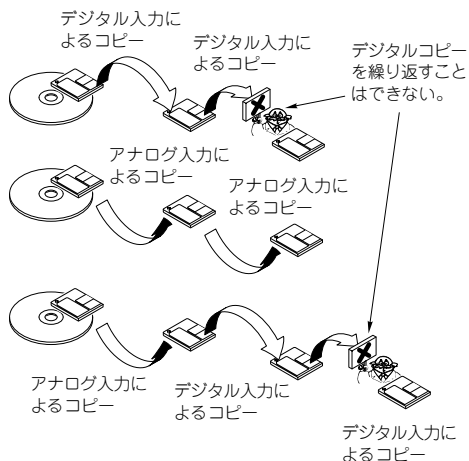
セットの中では、MDのシャッターは常に開いています。従ってMDにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終りましたら、速やかにMDをセットから取り出してください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

SCMS（Serial Copy Management System）について

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

サンプリング周波数について

通常、デジタル信号には次の三つの種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

48 kHz:　DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。
44.1 kHz:　DATの標準モード、CD、MD等。
32 kHz:　DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。
（DAT:Digital Audio Tapedeck）

本機は、 サンプリングレートコンバーターを内蔵していますので、48kHz、32kHzのデジタル信号を44.1kHzに変換して録音できます。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器（この商品）の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話（03）5353-0336（代表）
FAX.（03）5353-0337

異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、表示部の誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

● リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、本体のset（セット）キーを押しながら、差し込み直す。

アンプ／チューナー／スピーカー部

症　状	原　因	処　置	参照
音が出ない。	● スピーカーコードが外れている。 ● 音量を最小にしている。 ● MUTE（ミュート）状態になっている。 ● ヘッドホンプラグが差込まれている。	● **"接続のしかた"**をみて正しく接続し直す。 ● 適当な音量にする。 ● MUTE（ミュート）を解除する。 ● ヘッドホンプラグを抜く。	→ 11 → 19 → 20 → 19
standby/timer（スタンバイ／タイマー）インジケーターが赤く点滅し、音が出ない。	● スピーカーコードがショートしている。	● 一時 電源をオフ（スタンバイ）にして、ショートを取り除き、再度 電源をオンにする。	→ 11
standby/timer（スタンバイ／タイマー）インジケーターが緑色に点滅する。	● タイマー設定後、電源がオフ（スタンバイ）中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたため時計設定が解除された。	● 時刻合わせをやり直す。	→ 66
ヘッドホンから音が出ない。	● 差し込みが不完全。	● 正しく差し込む。	→ 19
スピーカーの片側から音が出ない。	● スピーカーコードが外れている。 ● バランスの設定が片寄っている。	● **"接続のしかた"**を見て正しく接続し直す。 ● 左右のバランスを調整する。	→ 11 → 20
突然、電源が切れた。	● A.P.S.（オートパワーセーブ）機能が働いた。	● A.P.S.（オートパワーセーブ）機能を解除する。	→ 65
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	● 停電があった。 ● 電源プラグを一度抜いた。	● 時刻合わせを再度行う。 ● 時刻合わせを再度行う。	→ 66
タイマーが作動しない。	● 時刻合わせをしていない。停電があった。 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定していない。 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻が同じである。 ● タイマーの予約をしていない。	● **"時刻合わせ"**を見て現在時刻を合わせる。 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 ● タイマーのオフ時刻をオン時刻より遅い時間に設定する。 ● **"タイマーの設定をする"**を見て**"PROG.1"** または**"PROG.2"**の**"ON"**を選ぶ。	→ 66 → 68 → 68 → 68
放送局が受信できない。	● アンテナを接続していない。 ● 放送バンドが合っていない。 ● 受信したい放送局の周波数に合っていない。	● アンテナを接続する。 ● 放送バンドを合わせる。 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。	→ 10 → 26 → 26
雑音が入る。	● 自動車のイグニッションノイズ。 ● 電気器具の影響によるもの。 ● テレビが近くにある。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。	

アンプ／チューナー／スピーカー部

症　状	原　因	処　置	参照
プリセットしたあと、プリセットコールで受信できない。	● プリセットした放送局が、受信できない周波数である。 ● 長い間、電源コードを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。	● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ● もう一度プリセットする。	→ 27 → 27

リモコン部

症　状	原　因	処　置	参照
リモコンで操作できない。	● 電池切れ。 ● 操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ● ソースがCDまたはMDのとき、CDまたはMDが入っていない。 ● 録音中のMDを再生しようとしている。	● 新しい電池に入れ替える。 ● 操作範囲内で操作する。 ● CDまたはMDを入れる。 ● 録音が終わるまで待つ。	→ 18

MD部（MD規格等の症状）

症　状	原　因
最大録音可能時間に達していなくても、"DISC FULL"が表示される。	● 最大録音可能時間に達していなくても、曲数が256曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。（トラック番号256未満でも録音できないことがあります。） ● 曲中にエンファシス情報などの入切が多く行なわれると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係無く"DISC FULL"が表示されます。 このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は" 0:00"になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● ミニディスク全体の残り時間が、24秒（MONO、LP2）または48秒（LP4）未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、" 0:00"になります。消去された曲の合計時間が24秒（MONO、LP2）または48秒（LP4）を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ● 編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ● 録音モードが違う曲は、つなげることはできません。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間と一致しない。	● 4秒間（MONO、LP2）または8秒間（LP4）を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
"READING"が表示される時間が異常に長い。	● 新品の録音用ミニディスク（全く録音されていないもの）を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。 ● 編集を繰り返したミニディスクやトラック番号数の多いミニディスクを入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。
編集してできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック（曲）番号が正しく付かない。	● 録音したソースによっては、トラック番号が正しくつかないことがあります。
タイトルが1792文字入らない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

MD部（その他の症状）

症　状	原　因	処　置	参照
MD ▶/IIキーを押しても音が出ない。	● ミニディスクが入っていない。 ● 未録音ディスクが入っている。	● ミニディスクを入れる。 ● 録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。	→ 24 → 24
録音ができない。	● ミニディスクが書き込み禁止になっている。 ● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ● AUX録音時の録音レベルが低い。 ● 再生専用ミニディスクが入っている。 ● 録音可能なエリアがない。 ● ソースがMDになっている。 ● 録音時間が短かすぎる。 ● メニューモードになっている。	● 書き込み禁止つまみを元に戻すか、録音可能なディスクに取り替える。 ● 録音形式を"ANALOG"に切り換えてから録音する。 ● 入力レベルを調整する。 ● 録音用ミニディスクを入れる。 ● ミニディスクを入れ替える。 ● 録音したいソースにする。 ● 1秒以上録音をする。 ● set（セット）キーを押してメニューモードを解除する。	→ 72 → 35 → 32 → 20
音がひずむ。	● 録音時に録音レベルの設定をしていない。 ● ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。	● 録音入力レベルを調節する。 ● 再度録音をする。	→ 35
雑音が大きい。	● 外部の雑音を誘導している。	● 電気器具、テレビなどから離す。	
録音したMDが他の機器（ATRAC（アトラック） 3に対応していない機器）で再生できない。	● LP2、LP4で録音されている。	● STEREO（ステレオ）またはMONO（モノラル）で録音する。	→ 33
4倍速録音するとノイズが混入して録音される。	● DISCにキズが多い。	● ノーマルスピードで録音する。	→ 42

CD部

症　状	原　因	処　置	参照
ディスクを入れても再生できない。	● ディスクが裏返しに入っている。 ● ディスクがずれている。 ● ディスクがひどく汚れている。 ● ディスクに傷がついている。 ● 光学レンズに露がついている。	● ラベル面を上にして、正しく入れる。 ● ディスクを正しく入れ直す。 ● "ディスク取り扱い上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ● ディスクを取り替える。 ● "結露にご注意"を参照し露を蒸発させる。	→ 22 → 72 → 71
音が出ない。	● ディスクが入っていない。 ● 再生状態になっていない。 ● ディスクがひどく汚れている。 ● ディスクに傷がついている。	● ディスクを入れる。 ● ▶/II キーを押す。 ● "ディスク取り扱い上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ● ディスクを取り替える。	→ 22 → 72
音が飛ぶ。	● ディスクが汚れている。 ● ディスクに傷がついている。 ● 本機に振動が加わっている。	● "ディスク取り扱い上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ● ディスクを取り替える。 ● 振動のない場所に設置する。	→ 72

MD部（メッセージ表示の一覧）

ディスプレイ表示	意　味	処　置	参照
NO DISC（ノー ディスク）	● ミニディスクが入っていない。	● ミニディスクを入れる。	→24
SCMS	● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	● デジタル録音はできません。 ● 録音形式を**"ANALOG"**に切り換えてから録音する。	→73 →35
UNLOCK	● 角形光コネクターが外れている、あるいは接続が不完全である。 ● サンプリング周波数が38 kHz、44.1 kHz、48 kHz以外の外部ソース機器を接続している。	● 角形光コネクターを正しく接続する。 ● 本機に適合するサンプリング周波数の外部ソース機器を接続する。	→13
DISC FULL（ディスク フル）	● 録音可能なエリアがない。 ● 256曲目を録音しようとしている。	● 録音用ミニディスクを入れ換える。 ● 1枚のディスクには256曲以上録音できません。	
FULL（フル）	● 最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	● **"入力できる文字数について"**を参照してください。	→62
BLANK DISC（ブランク ディスク）	● 何も録音されていないミニディスクです。	● 再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。	
READING（リーディング）	● TOC *1、UTOC *2情報を読んでいます。	● 故障ではありません。	
MD WRITING（ライティング）	● 編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	● 故障ではありません。	
UTOC ERROR（ユートック エラー）	● TOC *1、UTOC *2の内容が異常である。	● "ALL ERASE（オール イレース）"を行う。それができないときは、ディスクを取り換えてください。	→58
CAN'T EDIT（キャント エディット）	● 長さが短すぎる曲の消去など、制限を超えて編集をしようとしている。 ● 録音、編集後ディスクを取り出して録音、編集情報を記録していない。	● 制限範囲内で編集する。 ● ▲キーを押してディスクを取り出す。	
okの点滅	● "編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	● ENTER（エンター）キーを押すと、編集が実行されます。	
PROTECTED（プロテクテッド）	● ミニディスクが録音禁止の状態（PROTECT（プロテクト））になっている。	● 録音可能状態（PROTECT（プロテクト）を解除）にする。	→72
PLAY ONLY（プレイ オンリー）	● 再生専用ミニディスクである。	● 録音用ミニディスクをいれる。	
NOT AUDIO（ノット オーディオ）	● オーディオ信号でないデジタル信号が入力されている。	● 接続した外部ソース機器でオーディオデジタル信号を出力する。	
WAIT XX min.（ウェイト ミニッツ）	● CD倍速録音をはじめてから、74分以内に同じディスクを倍速録音しようとしている。	● 表示されている時間が経過してから倍速録音をはじめる。	
CAN'T PLAY（キャント プレイ）	● 未録音のミニディスクなど再生できないミニディスクを再生しようとしている。	● 再生できるミニディスクと交換する。	
LP: SET	● トラック番号の繰り上げに伴うタイトル入力処理中。	● LP：スタンプ機能をOFFにする。	

＊1 すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC（Table of Contents）（トック テーブル オブ コンテンツ）という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

＊2 TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOC（ユートック）と呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

保証書　(別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションへお問い合わせください。
(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
この期間は、通商産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理をご依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションが修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買上げ店名

電話 (　　　　)　　　　-

定格

SK-7PRO
［本体部］

［アンプ部］
実用最大出力 ....35W+35W（JEITA 6Ω）
サブウーファープリアウト 2.0V/600Ω
入力感度/インピーダンス（インプットレベル"+2"）
AUX 300mV/47kΩ
出力レベル/インピーダンス
TAPE REC ....300mV/2.2 kΩ
周波数特性
AUX .... 30Hz～100kHz、（+0dB、-3dB）

［チューナー部］
FMチューナー部
受信周波数範囲 .... 76MHz～90MHz
アンテナインピーダンス 75Ω不平衡
AMチューナー部
受信周波数範囲 .... 531kHz～1,629kHz

［MDレコーダー部］
読み取り方式 ....非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
記録方式 ....磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式 ....ATRAC, ATRAC3
D/Aコンバーター 1Bit
ワウ・フラッター（JEITA）...................... 測定限界以下

［CDプレーヤー部］
読み取り方式 ....非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
D/Aコンバーター .... 1Bit（24 bit分解能）
サンプリング周波数 8fs (352.8kHz)
周波数特性 (JEITA) .... 20Hz～20kHz
ワウ・フラッター (JEITA) .... 測定限界以下

［電源部・その他］
電源電圧・電源周波数 AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力 (電気用品安全法に基づく表示) .... 70 W
待機電力 ....0.6 W
最大外形寸法 .... 幅 220 mm
高さ 145 mm
奥行 356 mm
質量（重量）... 6.6 kg (正味)

［スピーカー部］
エンクロージャー ....バスレフ型
スピーカー構成
ウーファー ....130mm コーン型
ツイーター ....25mm ドーム型
防磁 ....防磁設計（JEITA）
インピーダンス 6Ω
最大入力 100W
最大外形寸法 .... 幅 165mm
高さ 280mm
奥行 277mm
質量（重量）..5.1kg（1本）

SK-5MD
［本体部］

［アンプ部］
実用最大出力 ....25W+25W（JEITA 6Ω）
サブウーファープリアウト 2.0V/600Ω
入力感度/インピーダンス（インプットレベル"+2"）
AUX 300mV/47kΩ
出力レベル/インピーダンス
TAPE REC ....300mV/2.2 kΩ
周波数特性
AUX .... 30Hz～60kHz、（+0dB、-3dB）

［チューナー部］
FMチューナー部
受信周波数範囲 .... 76MHz～90MHz
アンテナインピーダンス 75Ω不平衡
AMチューナー部
受信周波数範囲 .... 531kHz～1,629kHz

［MDレコーダー部］
読み取り方式 ....非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
記録方式 ....磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式 ....ATRAC, ATRAC3
D/Aコンバーター 1Bit
ワウ・フラッター（JEITA）...................... 測定限界以下

［CDプレーヤー部］
読み取り方式 ....非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
D/Aコンバーター 1Bit
サンプリング周波数 8fs (352.8kHz)
周波数特性 (JEITA) .... 20Hz～20kHz
ワウ・フラッター (JEITA) .... 測定限界以下

［電源部・その他］
電源電圧・電源周波数 AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力 (電気用品安全法に基づく表示) .... 50 W
待機電力 ....0.6 W
最大外形寸法 .... 幅 220 mm
高さ 145 mm
奥行 356 mm
質量（重量）... 6.8 kg (正味)

［スピーカー部］
エンクロージャー ....バスレフ型
スピーカー構成
ウーファー ....120mm コーン型
ツイーター ....25mm ドーム型
防磁 ....防磁設計（JEITA）
インピーダンス 6Ω
最大入力 60W
最大外形寸法 .... 幅 155mm
高さ 270mm
奥行 263mm
質量（重量）..4.5kg（1本）

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525　東京都八王子市石川町2967-3

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター東京　電話（03）3477-5335　FAX（03）3477-5334　〒153-0042　東京都目黒区青葉台 3-17-9

カスタマーサポートセンター大阪　電話（06）6394-8085　FAX（06）6394-8308　〒532-0034　大阪市淀川区野中北 2-1-22

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。